

出来形管理書類作成システム

QuickProject

出来形マネージャ 3.0

クイックプロジェクト 出来形マネージャ 3.0

操作マニュアル

株式会社ワイズ

*この操作マニュアルでは国土交通省仕様の画面表示を使用しております。各県仕様の場合、表示されている印刷書式が異なることがあります。

ソフトウェア使用許諾契約

使用許諾契約書とマスターディスクは、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証となりますので、どちらも大切に保管します。

第 1 条 適用範囲

以下の条項は、お客様が使用許諾契約書とともに入手された株式会社ワイズ(以下[ワイズ]といいます)のソフトウェア(以下[本ソフトウェア])及び、本ソフトウェアに関するマニュアルその他の関連資料(以下[本マニュアル等])で構成される本製品に関して適用します。本製品の著作権は本マニュアル等に記載されており、著作権法により保護されています。お客様が以下の条項を遵守することを条件に、お客様の本製品の使用を許諾いたします。

第 2 条 使用权

1. お客様は、本ソフトウェアを、特定の 1 台のコンピュータにインストールして使用することができます。
2. お客様は、バックアップの目的に限り、本製品の複製を一組作成することができます。バックアップの目的で作成した複製は、本製品の修復にのみ使用することができます。
3. お客様は、ネットワークサーバーのような記憶装置に本ソフトウェアをインストールして使用することができます。ただし、かかる記憶装置から本ソフトウェアを実行しているコンピュータ 1 台につき、専用のライセンスを 1 つ取得しなければなりません。

第 3 条 禁止事項

お客様が、以下の行為を行うことを禁止いたします。

1. 本製品及び本製品の複製の、譲渡、販売、転貸。
2. 本ソフトウェアのプログラムコードの変更あるいはリバースエンジニアリング。
3. 本契約に反する本製品の複製及び使用。

第 4 条 支払

1. 本製品が、ワイズが定めるデモ、無償、フリーの種類に属さない場合は、お客様は、本製品の使用にあたりワイズが定めた金額を商品到着後 7 日以内に支払うものとします。ただし、ワイズとお客様との間で別途売買契約を締結している場合はこの限りではありません。
2. 本製品が、デモ・無償・フリーの種類に属するとワイズが定めた場合、お客様は本製品を使用するあたり、金銭支払の義務は生じません。ただし、ワイズが、ユーザー登録等の金銭支払以外の条件を掲示している場合は、お客様はこれを行わなければなりません。

第 5 条 保証の範囲および免責事項

1. 本製品に物理的な欠陥があった場合は、お客様が本製品を購入された日から 90 日以内に限り、無料で欠陥のない商品と交換いたします。
2. 法律上の請求の原因の種類を問わず、いかなる場合においても、ワイズは、本製品の使用または使用不能から生ずる本契約に既定されていない、いかなる他の損害に関して、一切責任を負わないものとします。たとえそれがワイズが損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。いかなる場合においても、本契約に基づくワイズの責任は、本製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。
3. お客様が、本製品の正規ユーザーとしての登録をされた場合に限り、お客様が本製品を購入してから 1 年以内にワイズが本ソフトウェアの誤り(バグ)を修正したときには、修正したソフトウェアまたはそれに関する情報をお客様に提供いたします。但し、修正したソフトウェアまたはそれに関する情報を提供することの要否・時期についてはワイズにて定めさせていただきます。
4. 本製品が機能限定又は試用期間が指定されたトライアル(デモ)製品である場合、上記 1.、3. については適用の対象外となります。ワイズはトライアル(デモ)製品に対して一切の保証及びサポートを行いません。

第 6 条 管轄裁判所

1. 本契約に関する訴訟は、ワイズの所在地を管轄する地方裁判所または簡易裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

第 7 条 契約期間

1. 本契約は、お客様が本製品を受領した日から発効します。受領日は証票により確認するものとします。
2. 本契約は、お客様が本製品使用を停止するまで有効です。但し、お客様が、本契約の条項のいずれかに違反した場合、本契約は自動的に終了します。
3. 本契約が終了した場合には、お客様は 10 日以内にお客様のご負担で本製品を返却あるいは破棄していただきます。

Copyright(C)

QuickProject 出来形マネージャ

Copyright©1998-2008 Wise Corporation.

LEADTOOLS

Copyright©1991-1998 LEAD Technologies,Inc.

VS-FlexGrid Pro

Copyright©1999 VideoSoft Corporation.

QuickProject は株式会社ワイズの登録商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他の製品名と会社名は、それぞれの企業の登録商標または商標です。

<目次>

1. 出来形マネージャ	7
システムの特徴	7
作業の進め方が一目でわかる作業手順表示	8
ツリー表示でデータの管理	9
作図システムでの略図の作成・編集	9
出来形管理図表等の印刷(Excel 出力)機能	10
測点自動作成機能	10
2. 起動と終了	11
システムを起動する	11
システムを終了する	11
3. 入力時の基本操作	12
データを入力する(入力欄)	12
データを入力する(表形式の入力欄)	12
リストから選択する	13
チェックをつける	13
文字表示等をクリックする	14
4. 工事ファイルを新規作成する(初めてご利用になる場合にお読みください)	15
初めて使用する場合	15
PhotoManager データの読み込み	20
5. メイン画面の見方	25
メイン画面について	25
1. 工事ツリー	25
2. 測点リスト	27
3. 略図表示部分	27
4. データ入力部分	28

メイン画面のメニュー、ツールバー	29
ファイル	29
編集	29
表示	30
データ	30
ツール	30
写真連携	30
ヘルプ	31
工事データの保存	31
6. 工事の選択	32
新規に工事を作成する	32
既存の工事を開く	33
7. 工事情報ダイアログ	34
基本情報(工事件名等・発注者請負者)	34
社員	36
社員を登録する	36
測点	37
測点を自動作成する	37
測点を追加・編集・削除する	38
測点名の一括変更	39
8. 工種、種別、細別、検測種別フォルダを追加する	40
工種の追加	40
種別の追加	41
細別の追加	42
検測種別の追加	43
9. 略図を追加する	44
略図の作成	44

略図の編集	44
略図の削除	45
画像貼付	46
外部からの読み込み	46
10. 測定項目編集	48
測定項目画面の表示	48
測定項目の追加	48
測定項目の削除	49
規格値の入力又は修正	49
規格値の条件設定(範囲設定)	50
社内規格値の一括変更	51
11. 実測値入力	52
実測入力画面	52
12. 印刷(Excel出力)	53
Excel出力	53
設定(印刷)	56
全般	56
フォント	57
タイトル	58
管理図1	59
管理図2	60
捺印欄	61
単位	62
13. PhotoManager データの読み込み	63
14. PhotoManager との連携	64
連携するデータの選択	64
連携する写真の選択	65

「設計値」「実測値」の連携	66
写真の連携解除	67
データの連携の解除	67
15. オプション	68
各種設定	68
16. 出来形管理総括表	70
出来形管理総括表の入力	70
出来形管理総括表の表示	70
入力データを参照する	71
出来形管理総括表に直接データを入力する	71
印刷(Excel 出力)	74
17. 構造物集	75
構造物編集画面の表示	75
構造物の追加	75
検測種別の追加	76
測定項目の編集	77
略図の作成、読み込、編集、削除	77
18. 現場での利用	78
現場等の別のパソコンで使用する	78
工事データのコピー	78
構造物集のコピー	79
Excel 出力設定のコピー	80

1. 出来形マネージャ

Quick Project 出来形マネージャは土木工事で測定した実測値、設計値等を入力し、出来形管理図表、測定結果一覧表、測定結果総括表、度数表などの書類を作成するソフトウェアです。

システムの特徴

工種名～測定項目、規格値、略図まで登録済み

工種、種別等の名前はもちろん測定項目、規格値、略図が構造物集に登録済みですので、それらを選択し、実測値を入力するだけで出来形管理図表が作成できます。

検測種別の追加

追加先: /小型水路工/側溝工/自由勾配側溝

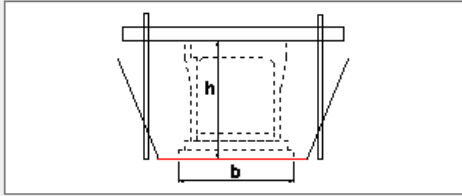
①構造物選択

あ か さ た な は ま や ら わ 全て

名前	フリガナ
サンドマット	サンドマ
山腹暗渠	サンブク
視線誘導標	シゼンユ
じゃかご	ジャカゴ
自由勾配側溝300×1000	ジュウコ
自由勾配側溝300×1100	ジュウコ
自由勾配側溝300×300	ジュウコ
自由勾配側溝300×400	ジュウコ
自由勾配側溝300×500	ジュウコ
自由勾配側溝300×600	ジュウコ
自由勾配側溝300×700	ジュウコ
自由勾配側溝300×800	ジュウコ
自由勾配側溝300×900	ジュウコ
自由勾配側溝400×1000	ジュウコ
自由勾配側溝400×1100	ジュウコ
自由勾配側溝400×1200	ジュウコ
自由勾配側溝400×400	ジュウコ
自由勾配側溝400×500	ジュウコ
自由勾配側溝400×600	ジュウコ
自由勾配側溝400×700	ジュウコ
自由勾配側溝400×800	ジュウコ
自由勾配側溝400×900	ジュウコ

追加される検測種別

略図:



測定項目:

	項目名	記号	下限あり	規格値 下限	上限あり	規格値 上限	規格値 単位
1	高さ	h	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm
2	幅	b	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input type="checkbox"/>	0	mm

②検測種別選択

- 床掘検測
- 基礎碎石検測
- ベースコンクリート型枠検測
- ベースコンクリート出来形検測
- 出来形検測

編集(E)... 追加(A) 閉じる(C)

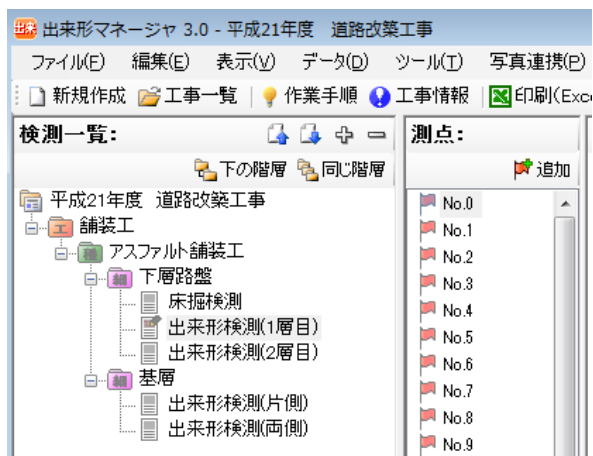
作業の進め方が一目でわかる作業手順表示

作業の進め方が一目でわかる作業手順がいつでも表示でき、作業方法の確認もできます。

<p>工事情報 入力</p>	<p>工事情報</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>工 事 名： 平成21年 道路改築工事</p> <p>発注年度： 2010年</p> <p>工事箇所：</p> <p>工 期： 2010年01月20日 ~ 2010年04月30日</p> <p>登録職員： ワイズ太郎（他 2 人）</p> <p>登録測点： 21 測点</p> </div> <p>工事情報の入力(K)</p> <p>社員の登録(S)</p> <p>測点の登録(P)</p>
<p>工種区分 フォルダ追加</p>	<p>工種、種別、細別フォルダを工事ツリーに追加します。</p> <p>工種区分フォルダの追加(F)</p> <p>>> 工種区分フォルダの追加方法</p>
<p>検測種別 追加</p>	<p>工事ツリーの細別フォルダに検測種別を追加します。</p> <p>>> 検測種別の追加方法</p>
<p>略図の追加 実測値の入力</p>	<p>検測種別毎に、測点、略図、測定項目を追加し、設計値、実測値等を入力します。</p> <p>>> 略図の追加、実測値の入力方法</p>
<p>印刷 (Excel出力)</p>	<p>フォント、グラフ等の設定を行い、出来形管理書類をExcelに出力します。</p> <p>>> Excel出力の方法</p>

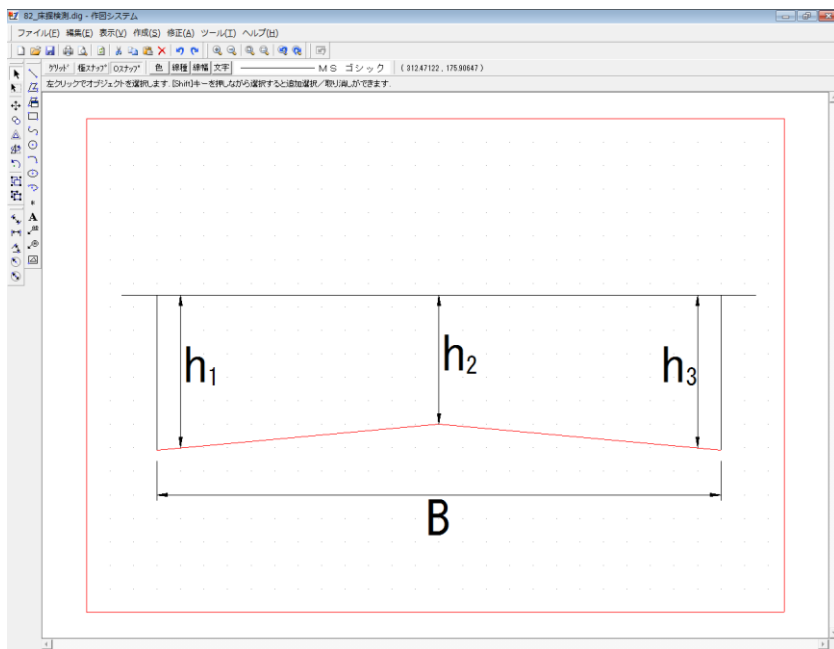
ツリー表示でデータの管理

工種、種別等がツリー表示され、作業状況がわかりやすくなっています。



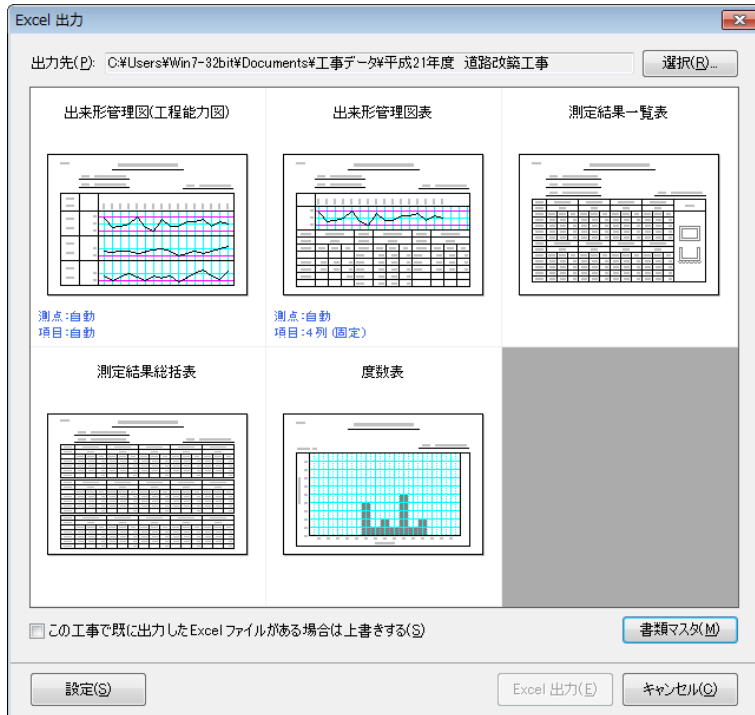
作図システムでの略図の作成・編集

作図システムで略図を作成、修正することができます。



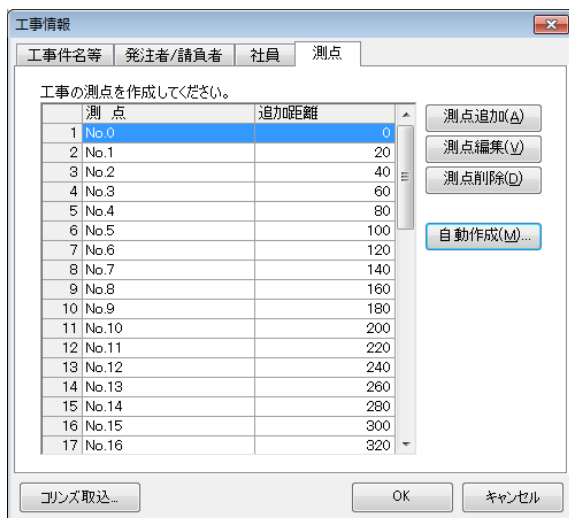
出来形管理図表等の印刷(Excel 出力)機能

出来形管理図(工程能力図)出来形管理図表、測定結果一覧表、測定結果総括表、度数表をExcelへ出力し、印刷することができます。必要に応じて修正を加えることも可能です。



測点自動作成機能

一度測点を入力してしまえば書類ごと、工種ごとに同じ測点を作成しなおすことはありません。測点の自動作成機能もありますので、作業時間が大幅に短縮されます。



2. 起動と終了


システムを起動する

- ①Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]をクリックします。
- ②[QuickProject]をクリックし、次に[出来形マネージャ 3.0]をクリックします。
- ③システムが起動します。



- デスクトップのアイコン  をダブルクリックすることでも起動します。

システムを終了する

- ①ウィンドウ右上の  (閉じる)ボタンをクリックすると、システムが終了します。
- ②データはすべて自動保存されますので、上書き保存などの必要はありません。

3. 入力時の基本操作

ここでは、全ての入力作業に共通する基本操作について解説します。操作は Windows の基本操作に基づいています。

データを入力する(入力欄)

①入力欄をクリックします。入力欄にカーソルが点滅します。データを入力します。

②入力欄を移動するには、[Tab]キーを押して次の入力欄に進むか、入力したい欄をマウスクリックで選択します。

[Tab]キーまたはマウスクリックでカーソルを移動し、データを入力します。

データを入力する(表形式の入力欄)

①入力欄をクリックし、データを入力します。

②入力欄を移動するには、キーボードの[↑][↓][←][→]キーを押して上下左右に移動する、[Enter]キーを押して一つ下の入力欄に移動する、または入力したい欄をマウスクリックで選択します。

入力の種類: 実測入力 項目編集

測点名: No.0

グラフ切替: 誤差分布図 管理図

項目名	記号	設計値	実測値	誤差	単位	規格値		社内規格値		
						下限値	上限値	単位	下限値	上限値
1 幅	B	5000	5000	0	mm	50	(なし)	mm	(なし)	(なし)
2	h1	300	300	0	mm	-50	50	mm	(なし)	(なし)
3 深さ	h2	300	300	0	mm	-50	50	mm	(なし)	(なし)
4	h3	300	300	0	mm	-50	50	mm	(なし)	(なし)

キーボードの[↑][↓][←][→]キー、[Enter]キー、またはマウスクリックでカーソルを移動し、データを入力します。

リストから選択する

入力欄右に▼ボタンがある入力欄では▼ボタンをクリックすることでリストが表示されます。表示されたリストから入力したい項目名をクリックすることで入力ができます。

工事情報

工事件名等 発注者/請負者 社員 測点

工事名称上段(K): 平成21年度 道路改築工事
下段(D):

※上段から工事名称を入力してください。印刷時に改行して出たい場合は下段に分けて入力してください。

発注年度(Y): 2009 ▼ 年

工事番号(O): 2006
2007
河川-路線名等(L): 2008
2009
2010
工事箇所(E): 2011
2012

▼ボタンをクリックすると、リストが表示されます。リストより項目をクリックして選択します。

■カレンダー形式の入力欄

選択したい日をカレンダーよりクリックして選択します。

前の月を表示 ←

2009年12月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

□ 今日: 2009/12/22

→ 次の月を表示

クリックすると直接「月」を選択できます。

カレンダーから日をクリックして選択

チェックをつける

チェックボックスはクリックすると、チェックが付き、チェックがついている状態でクリックするとチェックが外れます。

測点名にヘッダーを付ける(N)

↑ ヘッダー名(H): No. ▼

間隔(D): 20.000 m

→ チェックボックス

文字表示等をクリックする

ボタンやコマンドをクリックする以外に青字に下線が引かれた文字部をポイントするとマウスポインタの形が(指差した状態)に変わります。マウスをクリックすると画面が切り替わります。

工種、種別、細別フォルダを工事ツリーに追加します。

工種区分フォルダの追加

[>> 工種区分フォルダの追加方法](#)

↑
青字に下線が引かれた文字をクリック

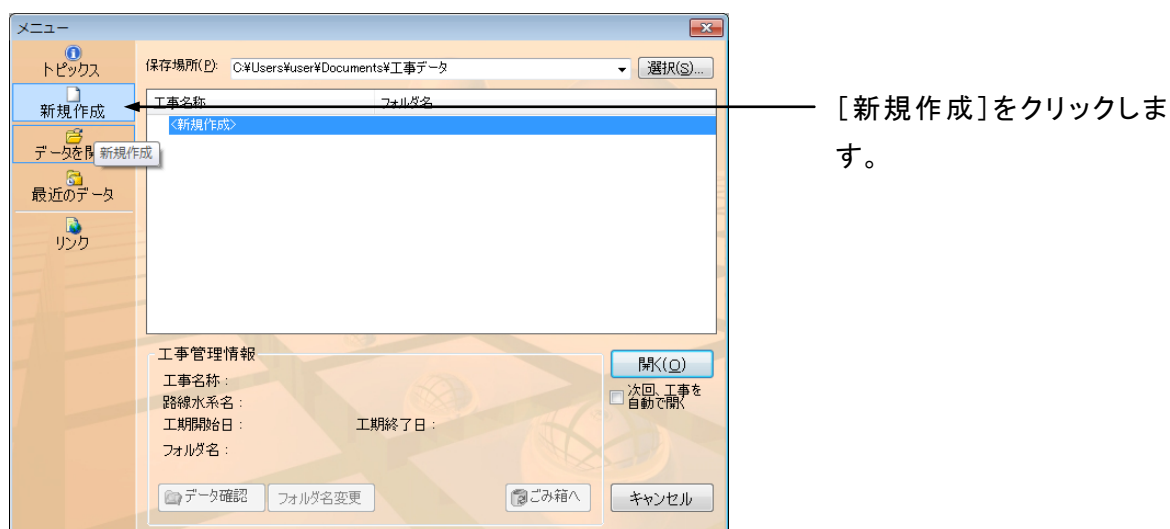
4. 工事ファイルを新規作成する(初めてご利用になる場合にお読みください)

初めてご利用になるときは、工事ファイルを作成する必要があります。

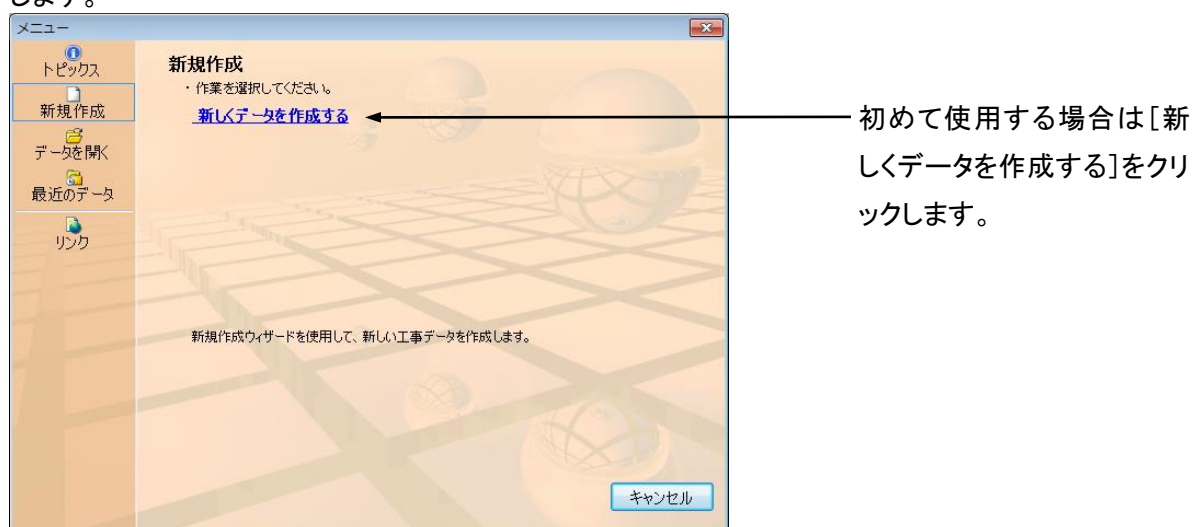
初めて使用する場合

①システムを起動します。

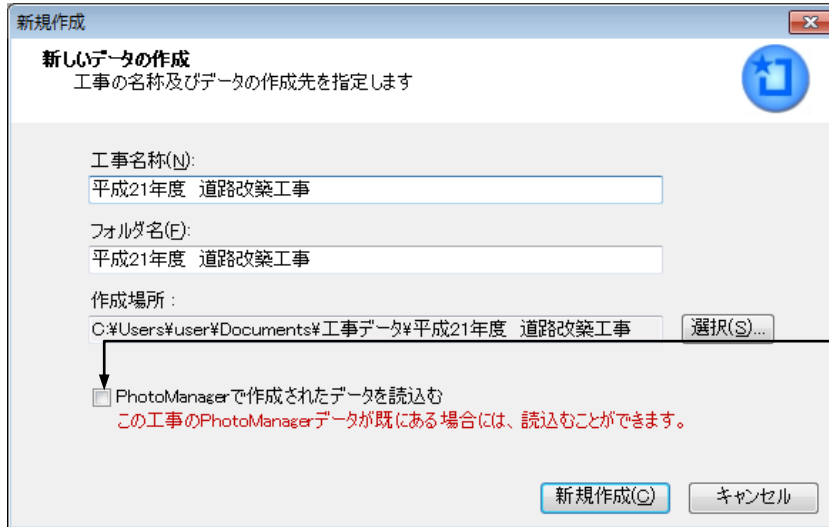
②[メニュー]ダイアログが表示されますので、[新規作成]をクリックします。



③起動すると下記の画面が表示されます。初めて使用される場合は[新しくデータを作成する]をクリックします。



④工事名称を入力し、[新規作成]をクリックします。



PhotoManager で作成されたデータがある場合は読み込むことができます。
(P20 参照)

⑤工事件名等の必要な情報を入力し、[発注者/請負者]のタブをクリックします。



⑥[選択]をクリックします。

CORINS の発注者データが表示されます。大分類、中分類、小分類、細分類の順にクリックして発注者を選択します。選択が終わったら、[選択]ボタンをクリックします。

必要な情報の入力が終了したら、[社員]のタブをクリックします。

⑦[社員追加]をクリックし、社員名を入力します。この工事を担当している複数の社員を登録する場合はこの作業を繰り返して行います。測定者の欄へ出力される候補となります。登録が終了したら、[測点]のタブをクリックします。

工事情報

工事件名等 発注者/請負者 **社員** 測点

書類に出力する社員(主に測定者)の氏名を入力してください。

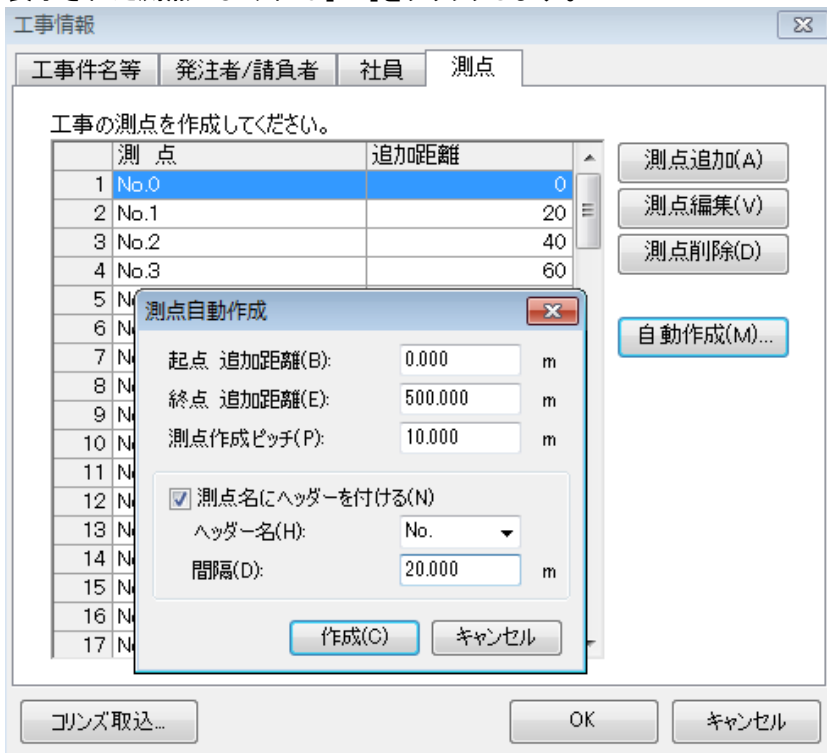
	氏名
1	ワイズ 太郎
2	ワイズ 一郎
3	ワイズ 花子
4	

社員追加(A)
社員削除(D)
上に移動(U)
下に移動(D)

コリンズ取込... OK キャンセル

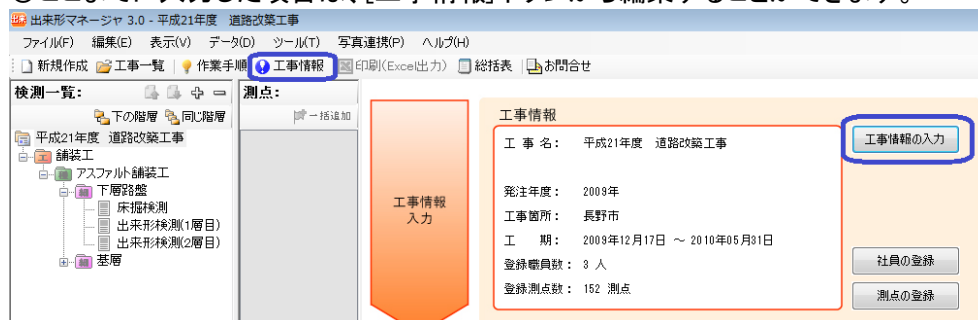
- 入力した社員は[上に移動]又は[下に移動]で順番を変更できます。
- 削除するには削除したい社員名をクリックし、[社員削除]をクリックします。

- ⑧[自動作成]をクリックし、必要項目を入力します。測点名に[No.]をつける場合には、[測点名にヘッダーを付けるに]チェックをつけます。もう一度クリックするとチェックが外れ、[No.]はつきません。入力が終了したら、[作成]をクリックします。表示された測点でよければ[OK]をクリックします。



- 測点を追加する場合は、[測点追加]をクリックし、測点名、追加距離を入力し、[追加]をクリックします。
- 測点名、追加距離を変更する場合には、[測点編集]をクリックし、測点名、追加距離を変更し、[OK]をクリックします。
- 作成した測点を削除する場合は、削除したい測点をクリックして選択し、[測点削除]をクリックします。

◎ここまでに入力した項目は、[工事情報]ボタンから編集することができます。



PhotoManager データの読み込み

既に PhotoManager に工事のデータがある場合は読み込むことができます。

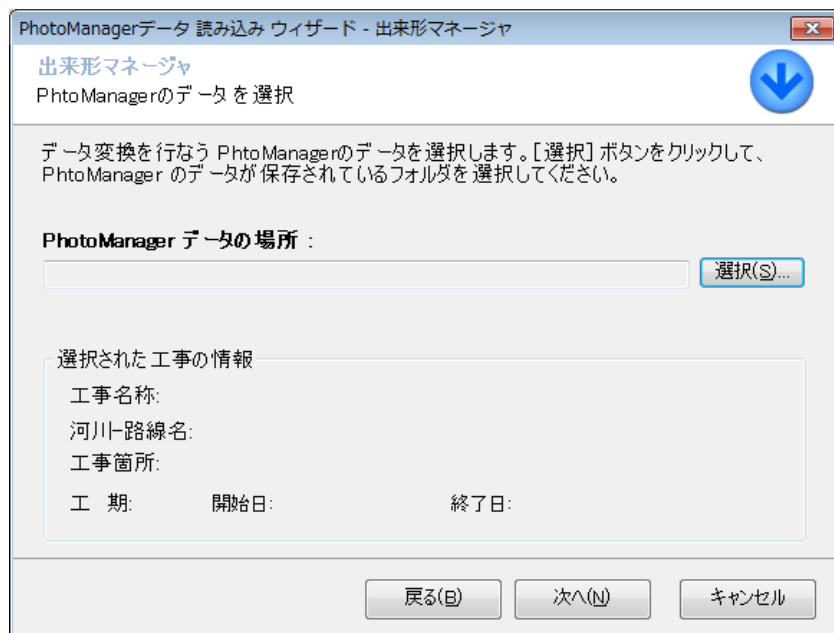
(※PhotoManager8.0 以降のデータのみ読み込むことができます。)

①4-④で工事名を入力し、[PhotoManager で作成されたデータを読み込む]にチェックを入れ[新規作成]をクリックします。

PhotoManager と同じフォルダ名では保存できませんので、同名になった場合はフォルダ名を変更してください。

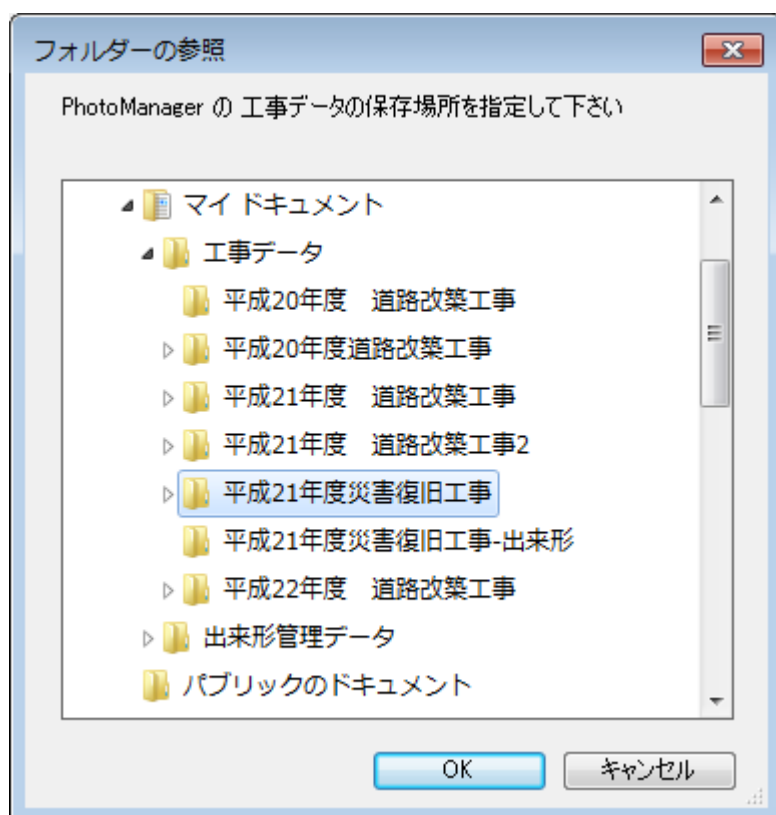
②[次へ]をクリックします。

③[選択]をクリックします。



④読み込む PhotoManager データフォルダを選択して[OK]をクリックします。

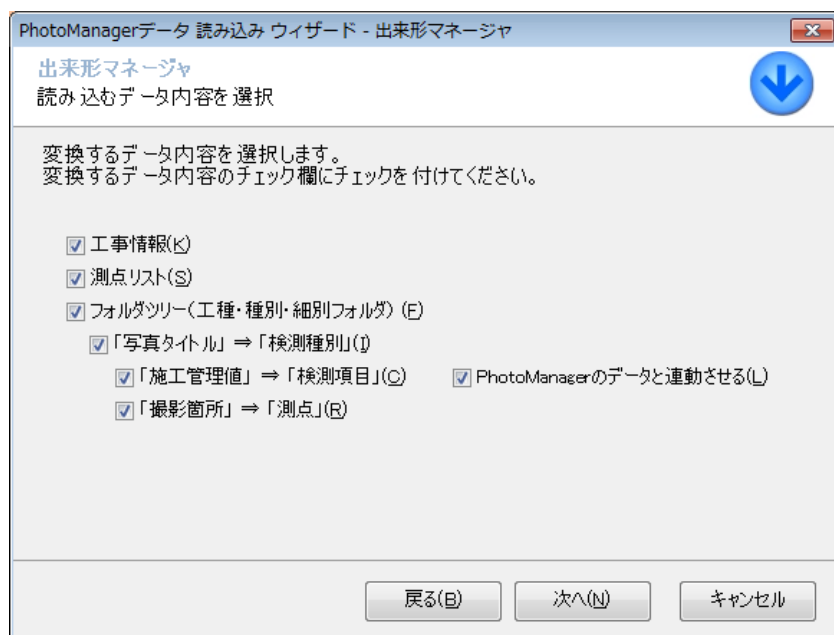
保存先を変更していない場合は、マイドキュメントの中の工事データフォルダに保存されています。



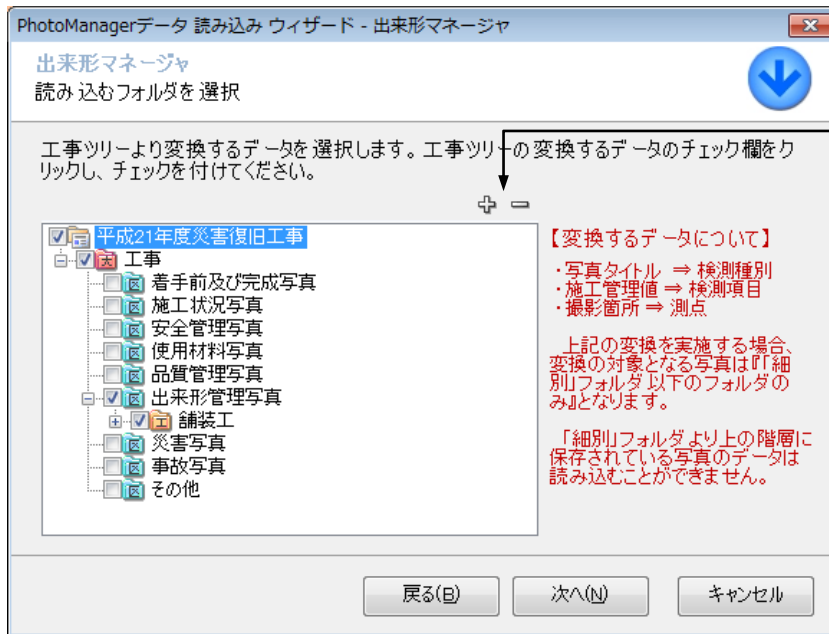
⑤ 選択した内容を確認し、[次へ]をクリックします。



⑥ 変換するデータ内容を確認し、[次へ]をクリックします。

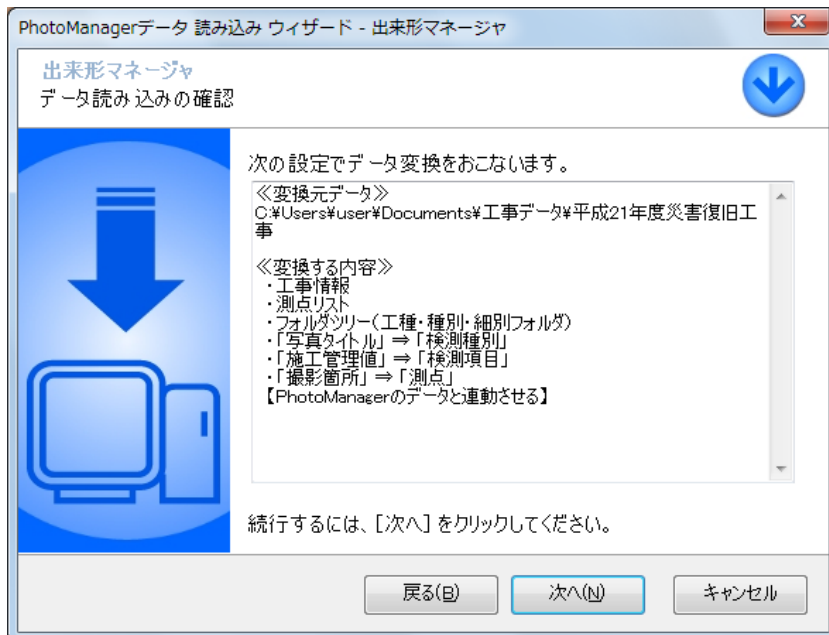


⑦読み込むフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。



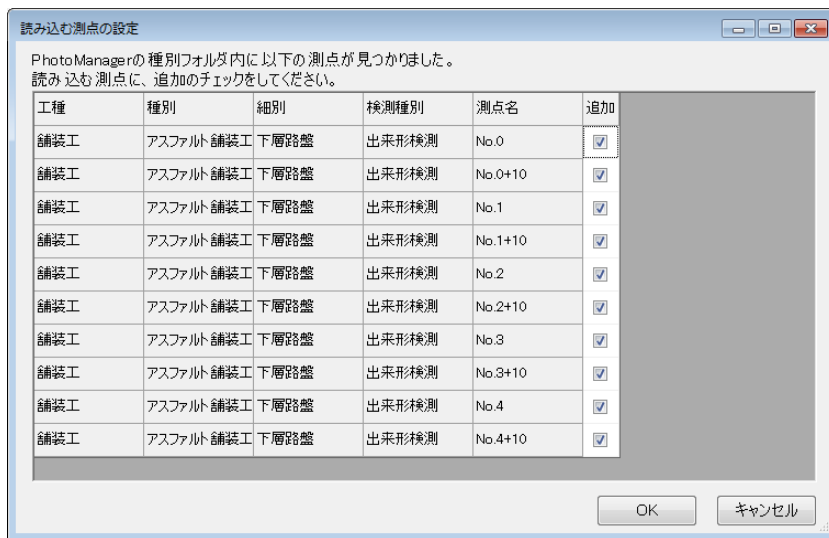
「+」をクリックすると工事ツリーが全て展開します。「-」をクリックすると工事ツリーが全て縮小します。

⑧変換する内容を確認し、[次へ]をクリックします。

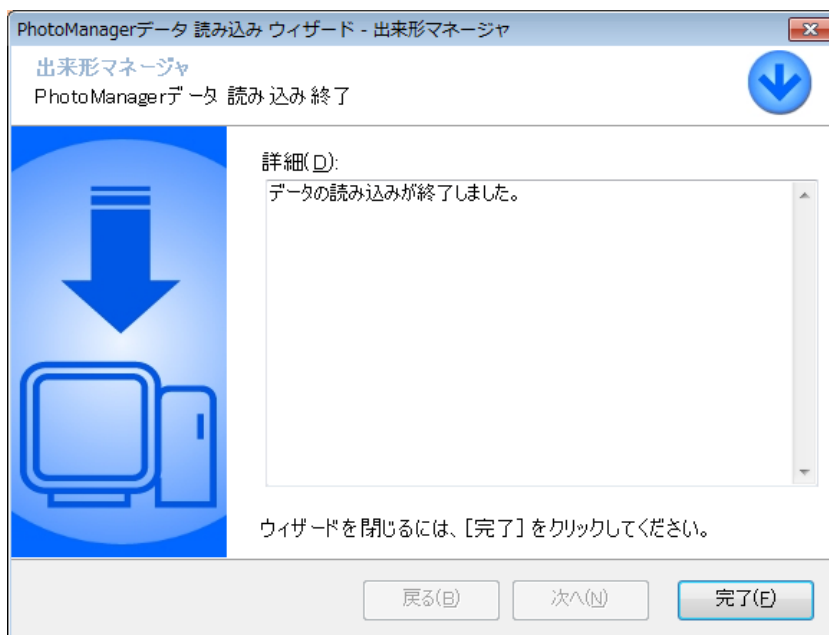


⑨読み込む測点を確認し、[OK]をクリックします。

読み込まない測点がある場合は[追加]欄をクリックしチェックを外します。



⑩[完了]をクリックします。



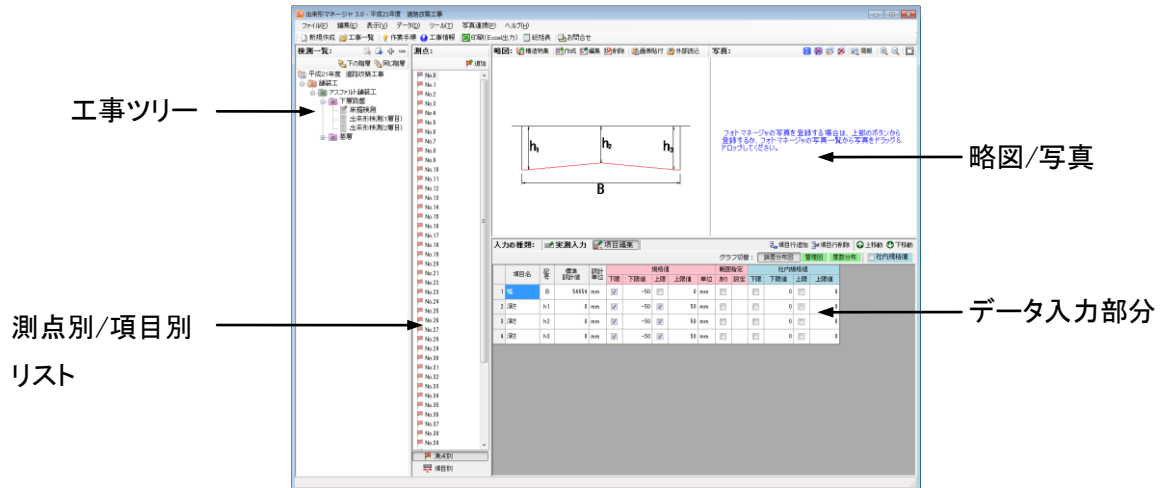
■続いて[工事情報]の入力画面が表示されます。

5. メイン画面の見方

メイン画面の見方について解説します。

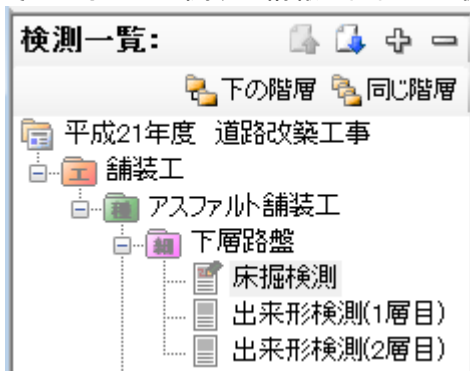
メイン画面について

メイン画面は以下のように大きく4つの部分に分かれています。

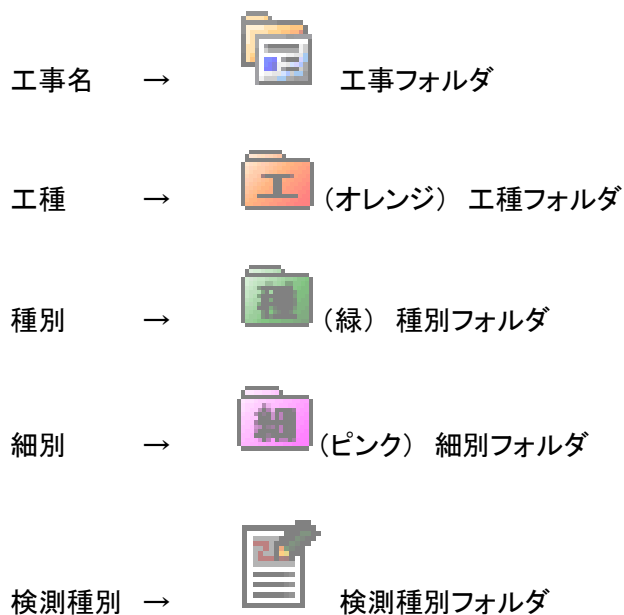




1. 工事ツリー

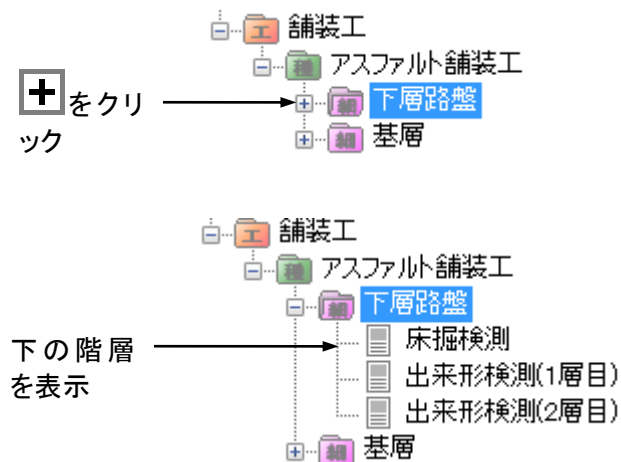
工事名の他に工種、種別、細別、検測種別がツリー構造で表示されます。各フォルダをクリックすると、そのフォルダに関する情報が画面の右側に表示されます。



■本ソフトウェアでは書類作成に必要な次のデータをフォルダ形式で管理しています。

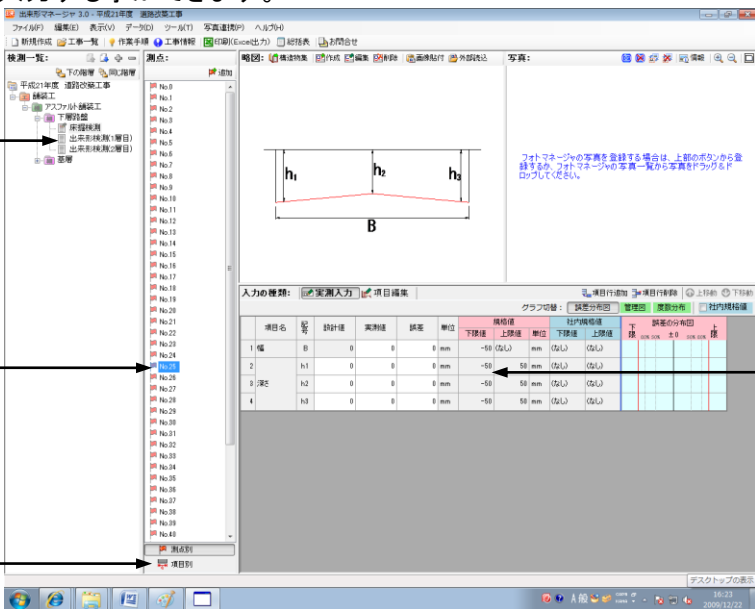


■ツリー表示の  をクリックすると下の階層を非表示にします。 をクリックすると、下の階層を表示します。



2. 測点リスト

工事ツリーの右側に表示されているのが[測点]です。検測種別フォルダに測点が登録されている場合に、工事ツリーで検測種別をクリックすると表示されます。測点に表示されている測点をクリックすると、その測点での実測値を入力する事ができます。



検測種別をクリック

測点をクリック

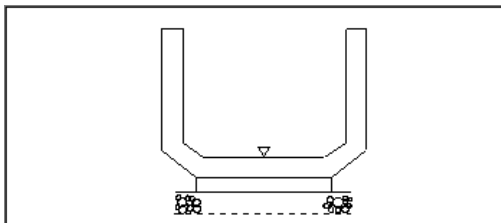
[項目別]ボタンをクリックすると、測点別ではなく項目別に表示されます。

クリックされた検測種別、測点での実測値等入力画面が表示

項目名	設計種	実測種	単位	値		社内検測値		検測の分布	
				下法値	上法値	下法値	上法値	下	上
1 幅	B	0	0 mm	-50 (なし)	50 (なし)	(なし)	(なし)		
2 深さ	h2	0	0 mm	-50	50	(なし)	(なし)		
4	h3	0	0 mm	-50	50	(なし)	(なし)		

3. 略図表示部分

画面右上には略図が表示されます。検測種別に略図が追加されている場合(検測種別によってはあらかじめ追加されているものもあります)ここに表示されます。検測種別フォルダ、または測点リストに表示されている測点をクリックした時にのみ表示されます。略図は新規作成、編集、削除をする事ができます。



■[検測種別]フォルダ以外をクリックした状態だと、現在の登録状況が表示されます。未入力箇所がある場合には赤字で表示されます。

－現在の状況－

舗装工-コンクリート 舗装工-コンクリート 舗装工

出来形検測(片側)

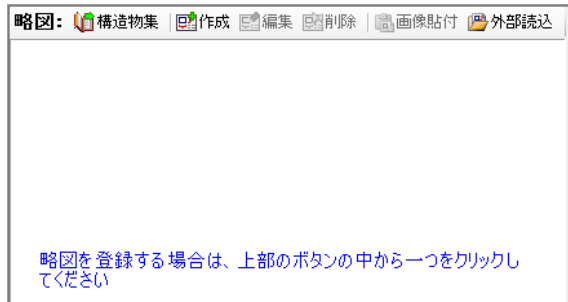
- 略図が追加されています。
- 測定項目が追加されています。
- 測点が追加されていません。

舗装工-コンクリート 舗装工-コンクリート 舗装工

出来形検測(両側)

- 略図が追加されています。
- 測定項目が追加されています。
- 測点が追加されていません。

■略図が登録されていないと下記のような画面が表示されます。略図の作成については P44「9. 略図を追加する」参照。



4. データ入力部分

工事ツリーで検測種別をクリックした場合、画面右下部分には各種データを入力するための表が表示されます。ここで設計値、実測値、規格値等を入力します。

入力の種類: 実測入力 項目編集

測点名: No.0

グラフ切替: 誤差分布図 管理図 度数分布 社内規格値

項目名	記号	設計値	実測値	誤差	単位	規格値			社内規格値		誤差の分布図					
						下限値	上限値	単位	下限値	上限値	下限	±0	上限			
1 幅	B	5000	5020	20	mm	-50	(なし)	mm	-25	(なし)						
2 深さ	h1	300	310	10	mm	-50	50	mm	-25	25						
	h2	300	295	-5	mm	-50	50	mm	-25	25						

入力の種類: 実測入力 項目編集

項目名: 幅 B

グラフ切替: 誤差分布図 管理図 度数分布

項目名	記号	標準設計値	設計単位	規格値			範囲指定		社内規格値				
				下限	下限値	上限	単位	あり	設定	下限	下限値	上限	上限値
1 幅	B	5000	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input type="checkbox"/>	0	mm	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-25	<input type="checkbox"/>	0
2 深さ	h1	300	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-25	<input checked="" type="checkbox"/>	25
3 深さ	h2	300	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-25	<input checked="" type="checkbox"/>	25

メイン画面のメニュー、ツールバー

メイン画面のメニューには以下のものがあります。ツールバーのアイコンをクリックすることでも同じ操作が可能です。下記の説明では、ツールバーにアイコンがあるものはアイコンを表示しています。

ファイル



新規作成 新しい工事を作成します。



工事一覧 工事選択ダイアログを表示して、既存の工事を読み込みます。

閉じる 現在作業している工事を閉じます。(閉じた後に他の工事の作業をする場合)



印刷(Excel ファイル出力) 出来形管理図等を Excel ファイルへ出力します。



総括表の出力 総括表を出力します。

PhotoManager データ読み込みウィザード PhotoManage のデータを読み込みます。

終了 出来形マネージャを終了します。

編集



元に戻す 作業を戻します。



切り取り 選択した文字を切り取ります。



コピー 選択した文字をコピーします。



貼り付け 切り取り、コピーした文字をカーソルのある場所に貼り付けます。



削除 文字、フォルダを削除します。

表示



作業手順 作業手順の一覧表を表示します。



工事情報 工事情報ダイアログを表示します。

データ

社内規格値一括変更 社内の規格値を一括で変更します。

測点名の一括変更 測点名を一括で変更します。

ツール

構造物集マスタ 構造物集マスタを表示します。



エクスプローラ エクスプローラを表示します。

データの最適化・修復 マスターと現在の構造物集のデータベースを最適化・修復します。

オプション オプションを表示します。

写真連携



連携する PhotoManager データの選択 連携する PhotoManager データを選択します。

PhotoManager データの確認 連携している Photo Manager データを確認します。



データ連携の解除 Photo Manager との連携を解除します。



連携する写真ファイルの選択 連携する写真を選択します。



写真ファイルの連携解除 写真の連携を解除します。



連携中の写真情報 連携中の写真情報を表示します。

連携中の写真を表示 連携中の写真を表示します。

ヘルプ



操作マニュアル 操作マニュアルを表示します。



ワイズのホームページを表示 (株)ワイズのホームページを表示します。



ワイズのダウンロードページを表示 (株)ワイズのダウンロードページを表示します。



ワイズのサポート表示 (株)ワイズのサポートページを表示します。



お問合せ メールにてお問合せができます。

最新のアップデートファイルを確認 アップデートファイルの確認をします。

バージョン情報 本システムの情報が表示されます。


工事データの保存

入力した工事データは自動保存されますので、保存をする必要はありません。

6. 工事の選択

新規で工事を作成する、保存してある工事を開くなど、工事ファイルの管理について解説します。


新規に工事を作成する

①メニューー[ファイル]ー[工事一覧]又はをクリックします。


②メニュー画面が表示され、[新規作成]をクリックし、[新しくデータを作成する]をクリックします。



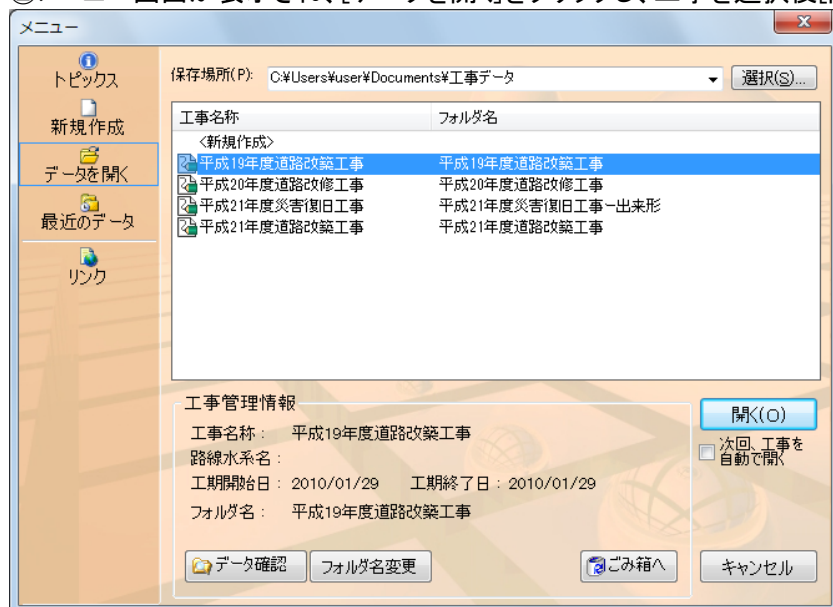
③[新しいデータの作成]ウィザードが表示されます。

■メニューー[ファイル]ー[新規作成]をクリック、またはボタンをクリックすることでも工事ファイルを新規作成することができます。

既存の工事を開く

①メニューの[ファイル]―[工事一覧]又はをクリックします。

②メニュー画面が表示され、[データを開く]をクリックし、工事を選択後[開く]をクリックします。



■標準ではマイドキュメントの「工事データ」フォルダに保存されています。

保存場所を変更するには[保存場所]右の[▼]ボタンをクリックし該当するフォルダを選択するか、[選択]ボタンをクリックし該当するフォルダを指定します。

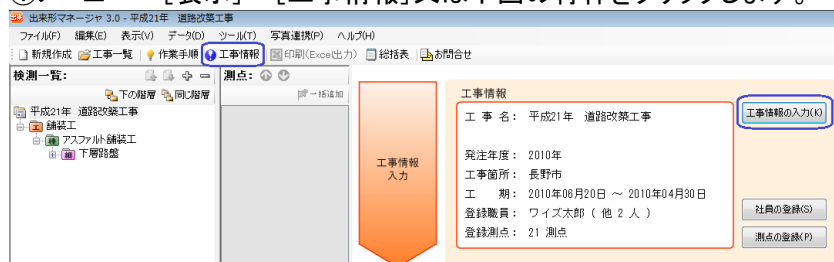
■最近使ったデータを読み込むには、[最近のデータ]をクリックします。最近編集された工事のデータを編集日の新しいものから順に並んで表示されます。保存した位置を指定しなくても読み込むことができます。

7. 工事情報ダイアログ

工事データの作成の基本となる基本情報、社員、測点データを入力します。新規工事を作成した際に入力されている場合には特に入力の必要はありません。

基本情報(工事件名等・発注者請負者)

①メニューー[表示]ー[工事情報]又は下図の青枠をクリックします。



②工事情報編集ダイアログが表示されますので、[工事件名等]の必要事項を入力します。

■工事を2段で表示する必要がある場合は[下段]にも入力します。

工事情報

工事件名等 発注者/請負者 社員 測点

工事名称上段(K): 平成21年度 道路改築工事
 下段(Q):
 ※上段から工事名称を入力してください。印刷時に改行して出力しない場合は下段に分けて入力してください。

発注年度(Y): 2009 年
 工事番号(O): 123456
 河川-路線名等(L): 国道19号線
 工事箇所(P): 長野市
 工期開始日(B): 2009/12/17
 工期終了日(E): 2010/05/31

コリズ取込... OK キャンセル

- ③[発注者／請負者]タブをクリックし、[選択]をクリックします。
CORINSの発注者データが表示されます。大分類、中分類、小分類、細分類の順にクリックして発注者を選択します。選択が終わったら、[選択]ボタンをクリックします。
その他必要事項を入力します。

- 社員の情報を編集したい場合は[社員情報]タブをクリックします。
- 測点の情報を編集したい場合は[測点]タブをクリックします。

社員

書類に出力する社員(主に測定者)の氏名を入力します。

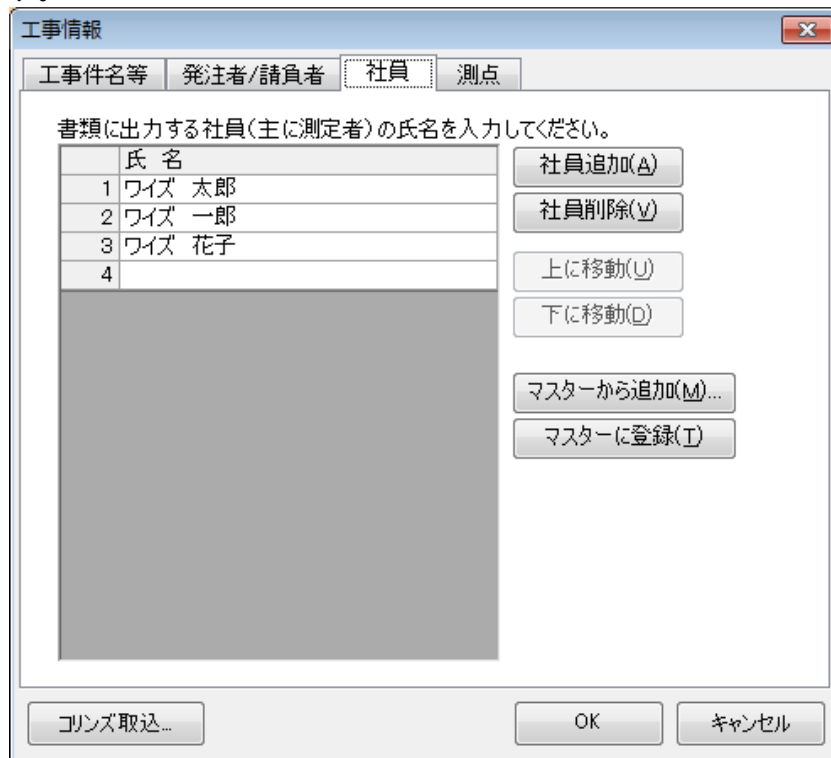
社員を登録する

①メニューー[表示]ー[工事情報]又はツールバーの[工事情報]か[社員の登録]ボタンをクリックします。



②工事情報編集ダイアログが表示されます。[社員]タブをクリックします。

[社員追加]をクリックし、社員名を入力します。複数の社員を登録する場合はこの作業を繰り返し行います。



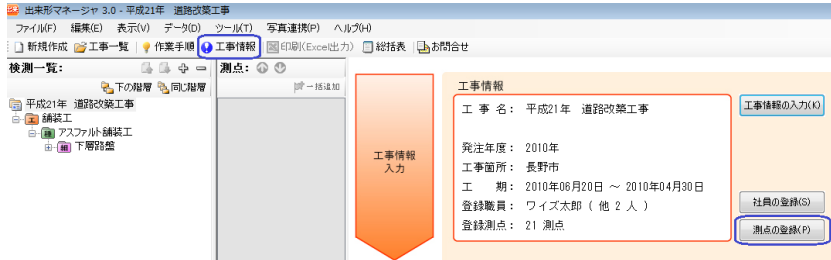
- 入力した社員は[上に移動]又は[下に移動]で順番を変更できます。
- 削除するには削除したい社員名をクリックし、[社員削除]をクリックします。
- 測点の情報を編集したい場合は[測点]タブをクリックします。

測点

検測する測点を登録します。

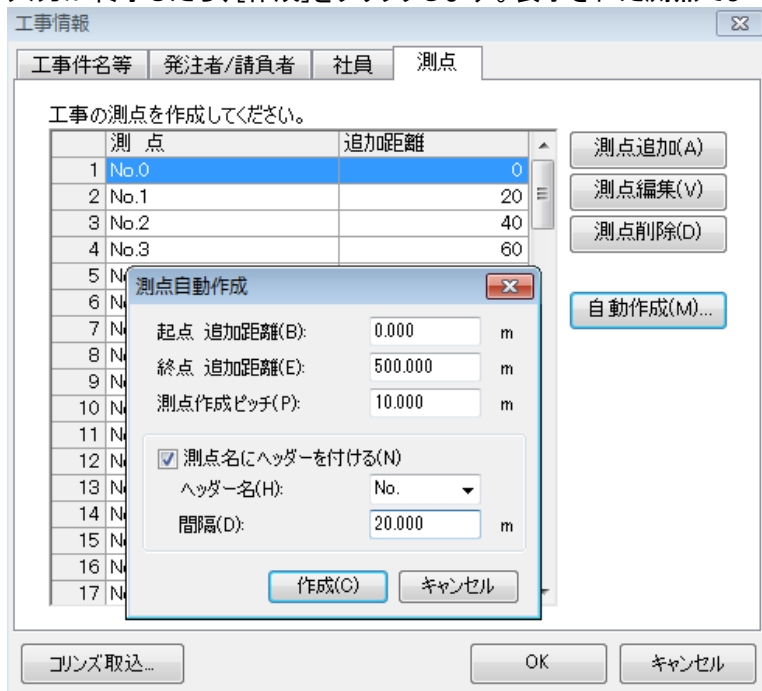
測点を自動作成する

①メニューー[表示]ー[工事情報]又はツールバーの[工事情報]か[測点の登録]ボタンをクリックします。



②工事情報編集ダイアログが表示されます。[測点]タブをクリックします。

[自動作成]をクリックし、必要項目を入力します。測点名に[No.]をつける場合には、[測点名にヘッダーを付ける]にチェックをつけます。もう一度クリックするとチェックが外れ、[No.]はつきません。入力が終了したら、[作成]をクリックします。表示された測点でよければ[OK]をクリックします。



■測点を追加する場合は、[測点追加]をクリックし、測点名、追加距離を入力し、[追加]をクリックします。

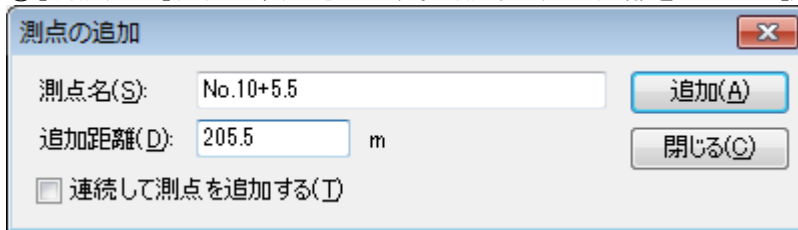
■測点名、追加距離を変更する場合には、[測点編集]をクリックし、測点名、追加距離を変更し[OK]ボタンをクリックします。

■作成した測点を削除する場合は、削除したい測点をクリックして選択し、[測点削除]をクリックします。

測点を追加・編集・削除する

測点を追加する

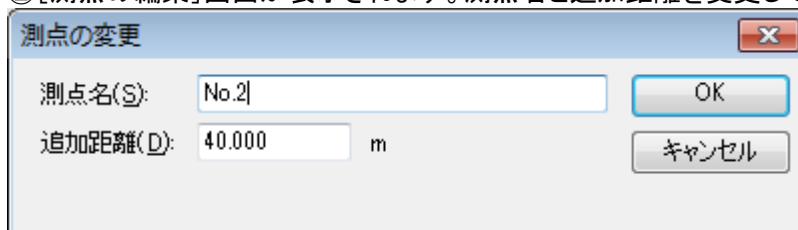
- ① [測点追加]ボタンをクリックします。
- ② [測点追加]画面が表示されます。測点名と追加距離を入力して[追加]をクリックします。



- 測点の追加を連続で行う場合は、[連続して測点を追加する]にチェックを入れます。
- 追加が終了したら[閉じる]をクリックします。

測点を編集する

- ① 編集する測点を選択し、[測点編集]ボタンをクリックします。
- ② [測点の編集]画面が表示されます。測点名と追加距離を変更して[OK]をクリックします。



測点を削除する

- ① 削除する測点を選択し、[測点削除]ボタンをクリックします。

測点名の一括変更

測点名を一括で変更します。

- ①メニューの[データ]-[測点名の一括変更]をクリックします。
- ②変更する範囲として[この工事全て]か[現在、選択しているフォルダ以下のすべて]のどちらかを選択します。
- ③変更前の測点を選択し、変更後の測点名を入力して[一括変更]をクリックします。

測点名の一括変更

①測点名を一括で設定する範囲を選択してください。

変更する範囲

この工事すべて(全検測種別)の測点名
 工事情報の測点も変更する

現在、選択しているフォルダ(または検測種別)以下のすべての測点名

②変更したい測点を選択し、変更後の測点名を入力してください。

変更前: No.3

変更後: No.3+0.5

一括変更(H) キャンセル

- ④[OK]をクリックします。

測点名の一括変更

？ 選択された範囲について、測点名 [No.3] を [No.3+0.5] に一括変更します。
よろしいですか？

OK キャンセル

8. 工種、種別、細別、検測種別フォルダを追加する

工種、種別、細別、検測種別フォルダを追加します。

工種の追加

工事ツリーの工事名フォルダに工種フォルダを追加します。

①[工種区分フォルダの追加]をクリックします。

工種区分フォルダ追加

工種、種別、細別フォルダを工事ツリーに追加します。

工種区分フォルダの追加

[>> 工種区分フォルダの追加方法](#)

②[フォルダの追加・工種]ダイアログが表示されます。

[工種一覧]から追加する工種を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

フォルダの追加 - 工種

あ か さ た な は ま や ら わ 全て

名前	フリガナ
Rc橋脚工	アールシーキョウキヤクコウ
Rcシェッド工	アールシーシェッドコウ
雨水排水設備工	アマミズハイスイセツビコウ
石・ブロック積(張)工	イシ・ブロックツミ(ハリ)コウ
移植工	イショクコウ
インパート工	インパートコウ
裏法被覆工	ウラノヒフクコウ
園路広場整備工	エンロヒロバゲイビコウ
応急処理工	オウキョウショリコウ
汚水排水設備工	オゼンハイスイセツビコウ

追加先: 下の階層(U) 同じ階層(S)

名前(N):

追加(A) 閉じる(C)

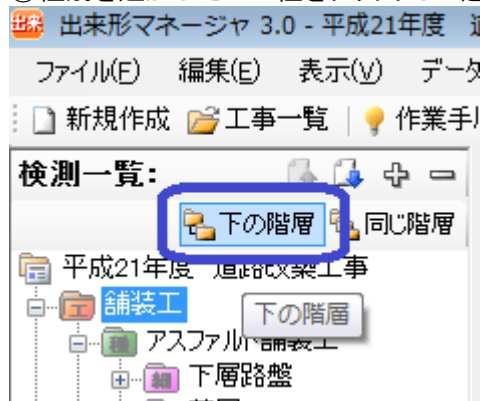
■工種名をダブルクリックしても追加することができます(種別、細別の場合も同様です)。

■工種を一覧から選択せずに、名前の欄に直接工種名を入力して追加することも出来ます。

種別の追加

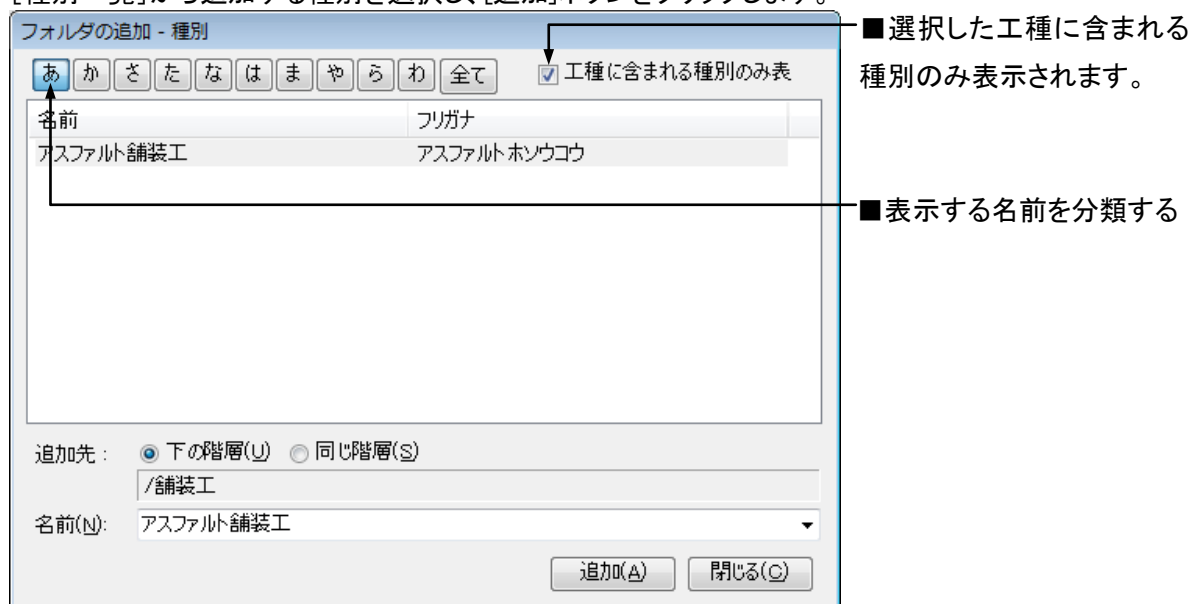
工事ツリーの工種フォルダに種別フォルダを追加します。

①種別を追加したい工種をクリックして選択し、下図の[下の階層]ボタンをクリックします。



②[フォルダの追加・種別]ダイアログが表示されます。

[種別一覧]から追加する種別を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



■ 工種フォルダを選択していない場合は種別フォルダを追加することができません。

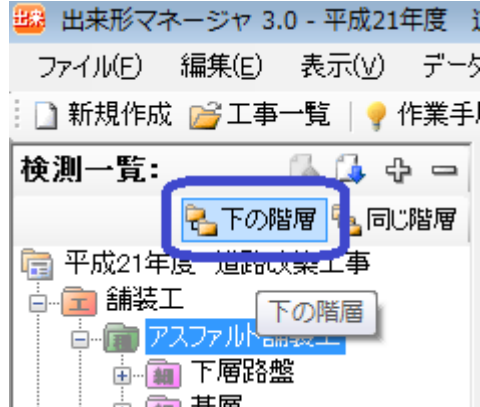
■ 種別名をダブルクリックしても追加することができます(工種、細別の場合も同様です)。

■ 種別を一覧から選択せずに、名前の欄に直接種別名を入力して追加することも出来ます。

細別の追加

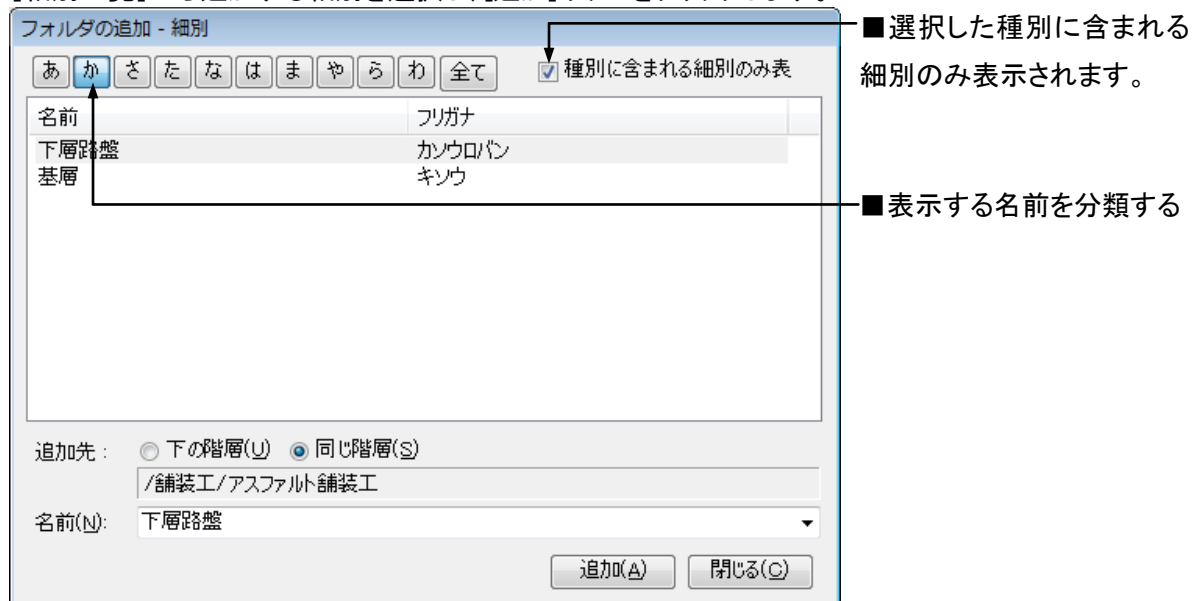
工事ツリーの種別フォルダに細別フォルダを追加します。

①細別を追加したい種別をクリックして選択し、下図の[下の階層]をクリックします。



②[フォルダの追加・細別]ダイアログが表示されます。

[細別一覧]から追加する細別を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

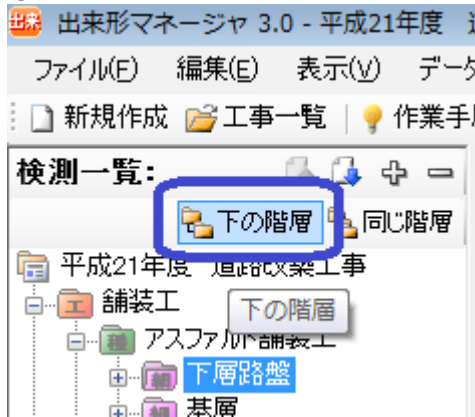


- 種別フォルダを選択していない場合は細別フォルダを追加することができません。
- 細別名をダブルクリックしても追加することができます(工種、種別の場合も同様です)。
- 細別を一覧から選択せずに、名前の欄に直接細別名を入力して追加することも出来ます。

検測種別の追加

工事ツリーの細別フォルダに検測種別フォルダを追加します。

①検測種別を追加したい細別をクリックして選択し、下図の[下の階層]をクリックします。



②[検測種別の追加]ダイアログが表示されます。
構造物をクリックして選択し、[追加]ボタンをクリックします。

■ 構造物をクリックして選択します。

■ 略図が表示されます。

■ 測定項目が表示されます。

■ 検測種別が表示されます。追加する検測種別もチェックを外すことで変更できます。

項目名	記号	下限あり	規格値 下限	上限あり	規格値 上限	規格値 単位
1 幅	B	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input type="checkbox"/>	0	mm
2 深さ	h1	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm
3 深さ	h2	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm
4 深さ	h3	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm

②検測種別選択

- 床掘検測
- 出来形検測(1層目)
- 出来形検測(2層目)

■ 細別フォルダを選択していない場合は検測種別フォルダを追加することができません。

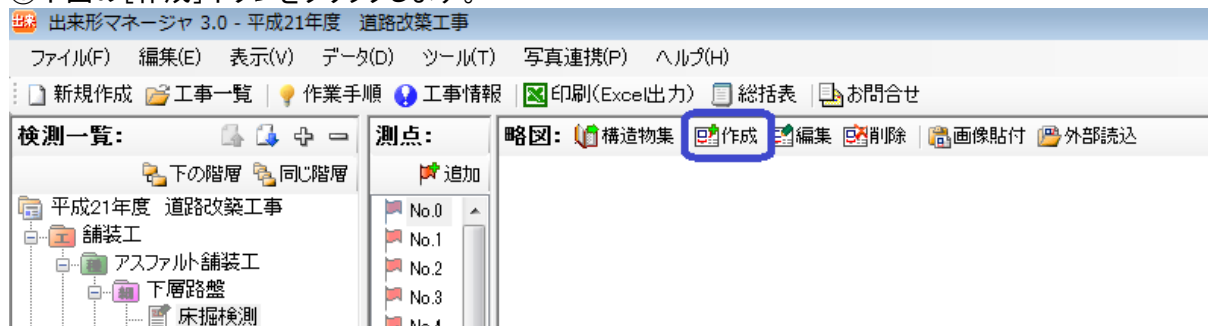
■ ここに表示されているデータはすべて検測種別フォルダと同時に追加されます。略図、検測項目はメイン画面で追加、編集することができます。

9. 略図を追加する

略図は「作図システム」で作成、編集をおこないます。

略図の作成

①下図の[作成]ボタンをクリックします。

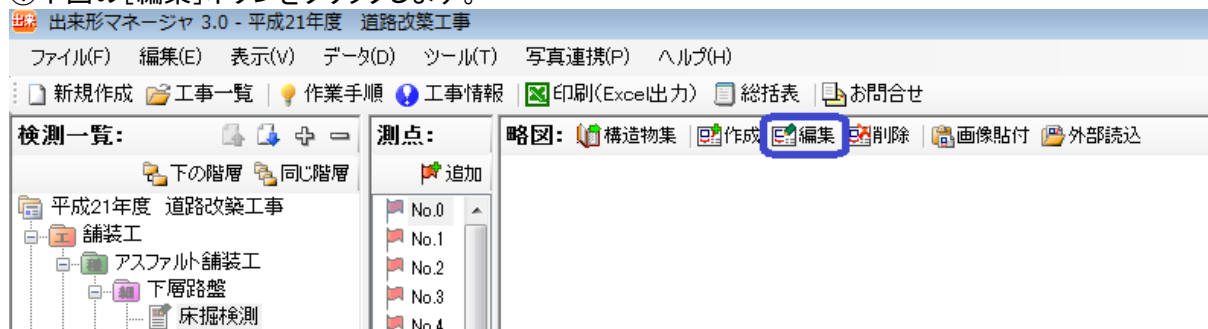


②作図システム(以下作図システム)が起動します。

■作図システムの使用方法については、作図システムのマニュアルをご覧ください。

略図の編集

①下図の[編集]ボタンをクリックします。



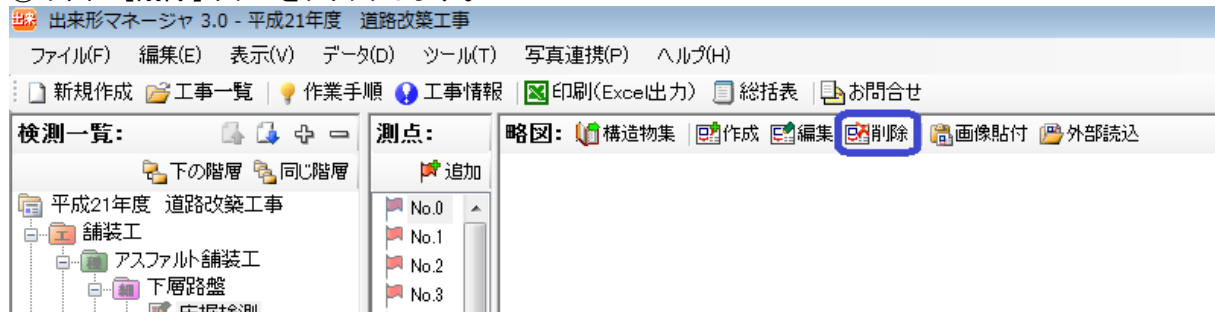
②作図システムが起動します。

■作図システムの使用方法については、作図システムのマニュアルをご覧ください。

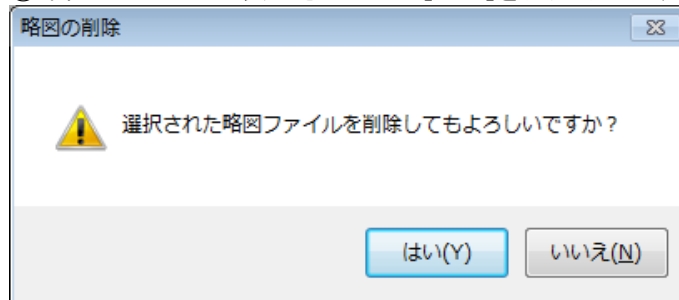
略図の削除

①削除したい略図がある検測種別を選択します。

②下図の[削除]ボタンをクリックします。



③確認メッセージが表示されるので[はい]をクリックします。

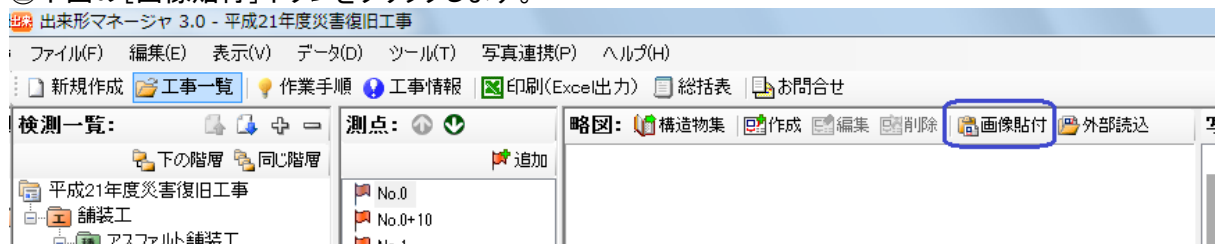


画像貼付

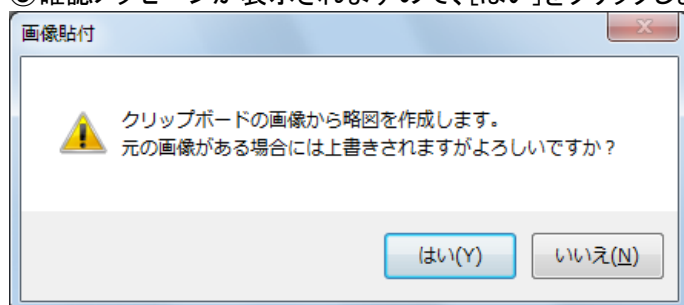
クリップボードに略図をコピーして貼り付けることができます。Excel など他のソフトで作成した略図も貼り付けることができます。この場合略図の編集はできません。

①貼り付けを行いたい画像をあらかじめ「コピー」しておきます。

②下図の[画像貼付]ボタンをクリックします。



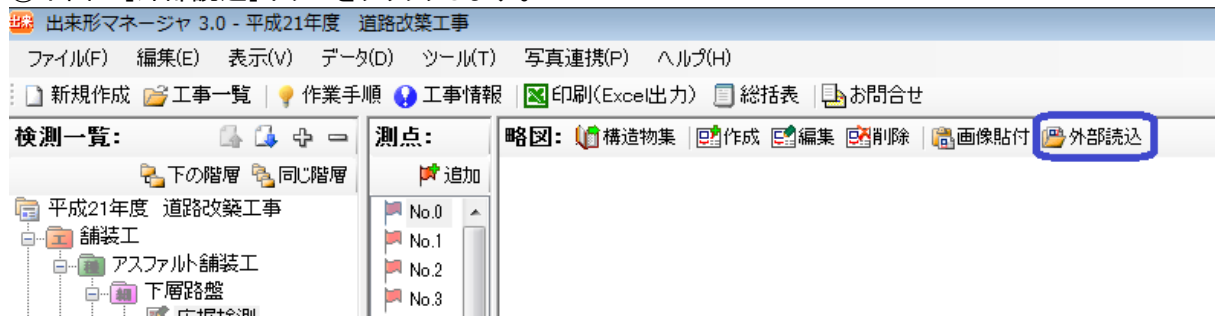
③確認メッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。コピーされていた画像が貼付されます。



外部からの読み込み

「作図システム」で作成した略図以外にも他のアプリケーションで作成されたファイルを登録することができます。この場合略図の編集はできません。

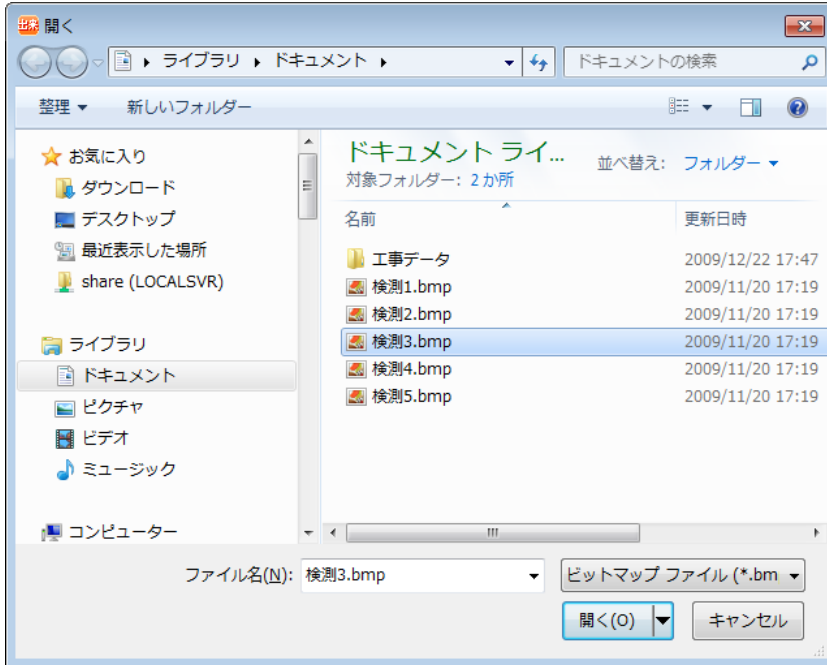
①下図の[外部読込]ボタンをクリックします。



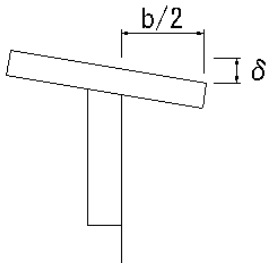
②ファイル選択ダイアログが表示されます。画面の右下にあるリストボックスで表示する画像ファイルの種類を選択します。

- ・画面の左側で読み込む画像があるドライブ、フォルダを選択します。
- ・画面の右側から読み込む画像ファイルを選択します。

[選択]ボタンをクリックします。



③選択した画像ファイルが表示されます。



10. 測定項目編集

メイン画面右下の測定データ入力部分で[項目編集]をクリックした時に表示される画面です。測定項目に対して、規格値、社内規格値の設定を行います。

測定項目画面の表示

①工種、種別、細別、検測種別、測点を追加した状態で[項目編集]ボタンをクリックします。

項目名	記号	標準設計値	設計単位	規格値		範囲指定	社内規格値	
				下限	上限		下限	上限
1 幅	B	0 mm		<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input type="checkbox"/>	0	0
2 深さ	h1	0 mm		<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	0	0
3 深さ	h2	0 mm		<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	0	0
4 深さ	h3	0 mm		<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	0	0

測定項目の追加

測定項目を追加します。

①下図の[項目行追加]ボタンをクリックします。

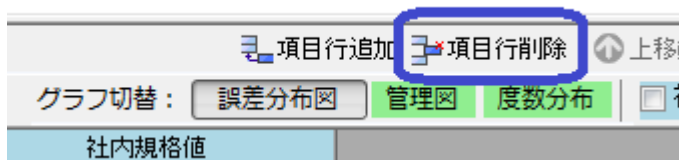
②表の最後の行に新しい行が追加されます。

③測定項目、記号を入力します。

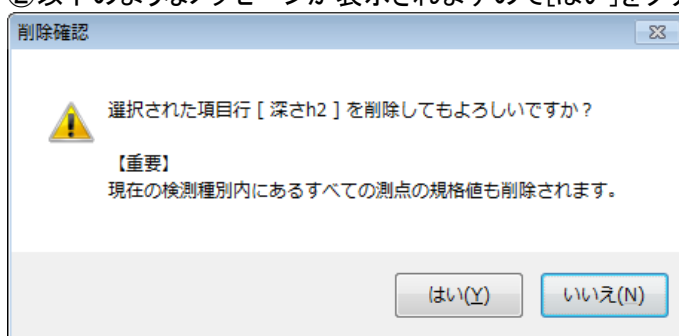
測定項目の削除

測定項目を削除します。

①削除したい行を選択し、下図の[項目行削除]ボタンをクリックします。



②以下のようなメッセージが表示されますので[はい]をクリックします。



③選択した行が削除されます。

規格値の入力又は修正

規格値及び社内規格値を入力又は修正します。

①必要に応じて、規格値及び社内規格値の入力又は修正を行います。

入力の種類: 実測入力 項目編集

グラフ切替: 誤差分布図

項目名	記号	標準設計値	設計単位	規格値				範囲指定		社内規格値				
				下限	下限値	上限	上限値	単位	あり	設定	下限	下限値	上限	上限値
1 幅	B	0	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input type="checkbox"/>	0	mm	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	-25	<input type="checkbox"/>	0
2 深さ	h1	0	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	-25	<input checked="" type="checkbox"/>	25
3 深さ	h2	0	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	-25	<input checked="" type="checkbox"/>	25
4 深さ	h3	0	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	-25	<input checked="" type="checkbox"/>	25

②実測入力の設計値がまだ入力されていない場合は、標準設計値で入力された設計値が全ての測点での設計値になります。

規格値の条件設定(範囲設定)

同じ測定項目でも設計値により規格値が変化する場合に設定します。

①項目編集画面より、設定する項目の行を選択し、[範囲あり]をクリックしてチェックをつけます。チェックの有無で範囲設定の有効、無効を切り替えます。範囲設定を有効にして[範囲設定]ボタンをクリックします。

項目名	記号	標準設計値	設計単位	規格値					範囲指定	社内規格値				
				下限	下限値	上限	上限値	単位	あり	設定	下限	下限値	上限	上限値
1 幅	B	0	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input type="checkbox"/>	0	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="..."/>	<input type="checkbox"/>	0	<input type="checkbox"/>	0
2 深さ	h1	0	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	<input type="checkbox"/>	0
3 深さ	h2	0	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	<input type="checkbox"/>	0
4 深さ	h3	0	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-50	<input checked="" type="checkbox"/>	50	mm	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	<input type="checkbox"/>	0

[範囲選択]ボタンをクリック

■ [範囲選択]ボタンは選択した行にのみ表示されます。

②規格値の条件設定ダイアログが表示されます。

1. 符号を選択します。
2. 設計値上限を入力します。
 - 1行目に[符号]と[設計値上限]を入力すると、2行目には設計値下限が自動表示されます。
3. 規格値を計算で示す場合は、計算から式を選択します。
4. 規格上限を[上限あり]にチェックをつけて上限値を入力します。
5. 規格下限を[下限あり]にチェックをつけて下限値を入力します。
6. 管理基準における上限がある場合は、[管理上限あり]にチェックをつけて上限値を入力します。
7. 管理基準における下限がある場合は、[管理下限あり]にチェックをつけて下限値を入力します。

規格値の条件設定

設計値の値によって規格値の上限、下限を設定することができます。

操作手順
1. 設計値の範囲を等号、不等号を使用して設定します。
2. 設定した範囲内の規格値上限、下限を入力してください。

測定項目 幅 B

範囲の入力例
-∞~100.000の範囲 → < 100.0
100.000~120.000の範囲 → 100.000 ≤ < 120.000
120.000~+∞の範囲 → 120.000 ≤

設計値下限	符号	記号	符号	設計値上限	設計単位	規格値					社内規格値			
						下限	下限値	上限	上限値	単位	下限	下限値	上限	上限値
		B	<	150	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-25	<input type="checkbox"/>	0	mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-20	<input type="checkbox"/>	
150	≤	B			mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-30	<input type="checkbox"/>		mm	<input checked="" type="checkbox"/>	-25	<input type="checkbox"/>	

OK キャンセル

■ 設計値上限、下限の入力例

設計値下限	符号	記号	符号	設計値上限	設計単位
		B	<	150	mm
150	≤	B			mm

1行目の符号と設計値上限を入力すると、2行目の設計値下限と符号は自動表示されます。

■規格上限値、下限値の入力例①

- ・<150 の場合 下限値 -25mm（[計算]欄には何も入力しません）
- ・150≦の場合 下限値 -30mm（[計算]欄には何も入力しません）

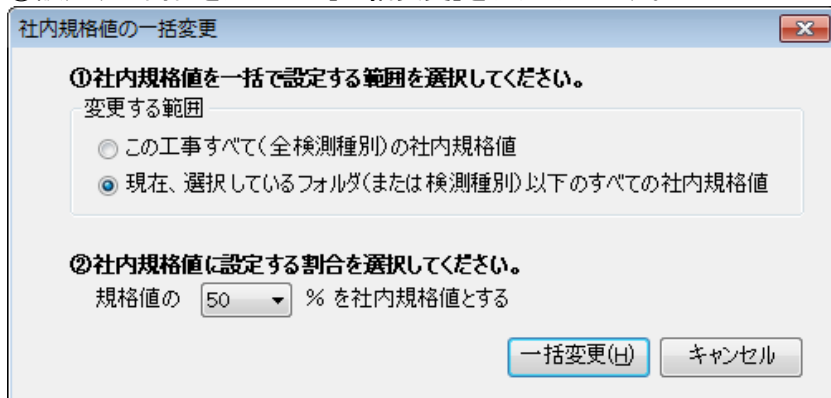
■規格上限値、下限値の入力例②

- ・<100 の場合 下限値 設計値に対して 5%（[計算]欄で[%]を選択し、規格下限で「5」と入力します。
例：2%=2、10%=10）
- ・100≦の場合 下限値 -5mm（[計算]欄には何も入力しません）

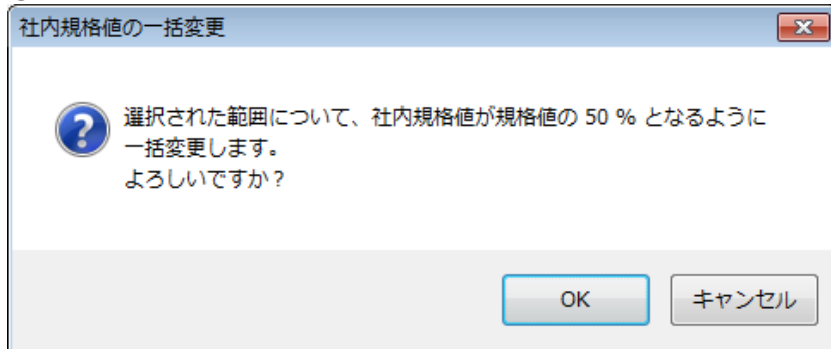
社内規格値の一括変更

社内規格値を一括で変更します。

- ①メニューの[データ]→[社内規格値の一括変更]をクリックします。
- ②変更する範囲として[この工事全て]か[現在、選択しているフォルダ以下のすべて]のどちらかを選択します。
- ③設定する割合を入力して[一括変更]をクリックします。



- ④[OK]をクリックします。



11. 実測値入力

実測値の入力を行います。

実測入力画面

設計値、実測値を入力します。

①工事ツリーから検測種別フォルダを選択し、測点を選択します。[実測入力]ボタンをクリックします。

②実測値の入力画面が表示されます。

設計値、実測値を入力します。誤差は自動計算されます。また誤差を入力することで実測値を更新することもできます。

項目名		記号	設計値	実測値	誤差	単位	規格値		社内規格値		誤差の分布図								
							下限値	上限値	単位	下限値	上限値	下限	80%	50%	±0	50%	80%	上限	
1	幅	B	6000	6050	50	mm	300		mm	-1500									
2		h1	500	510	10	mm	-50	50	mm	-40	40								
3	高さ	h2	500	515	15	mm	-50	50	mm	-40	40								
4		h3	500	509	9	mm	-50	50	mm	-40	40								

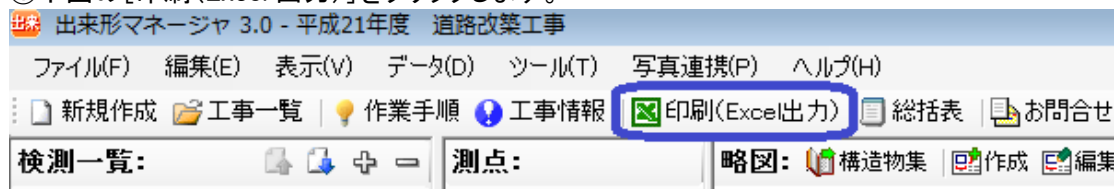
誤差の計算方法についてはメニューの
[ツール]—[オプション] の[入力]タブの
計算方法で変更できます。

12. 印刷(Excel 出力)

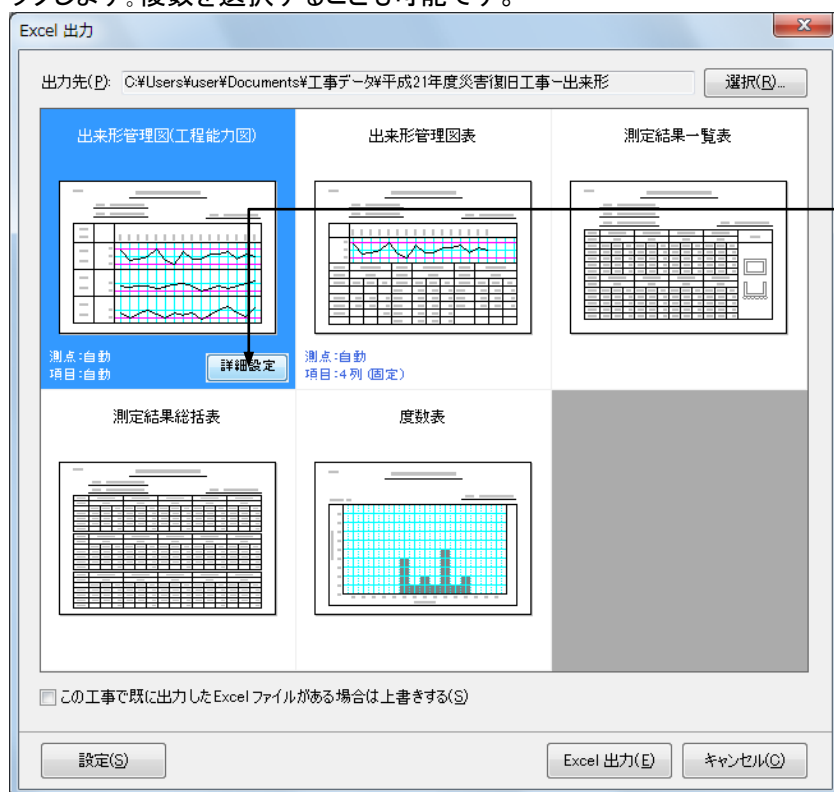
出来形管理表等の印刷(Excel 出力)を行います。

Excel 出力

①下図の[印刷(Excel 出力)]をクリックします。



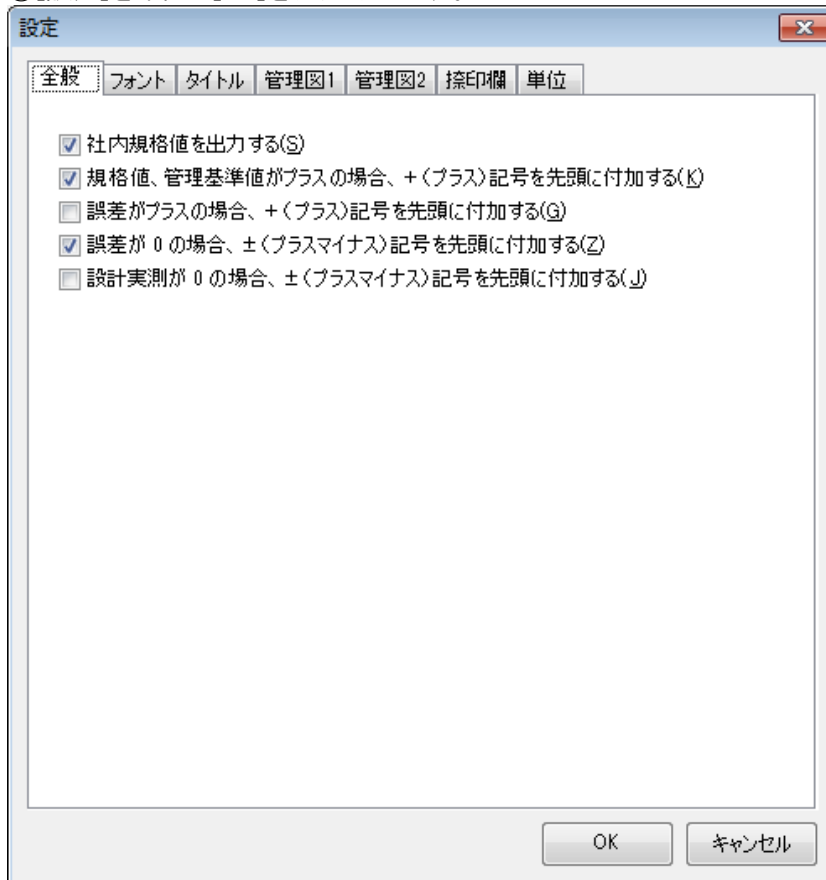
②出力書類の選択ダイアログ画面が表示されます。出力する書類を選択して、[Excel 出力]ボタンをクリックします。複数を選択することも可能です。



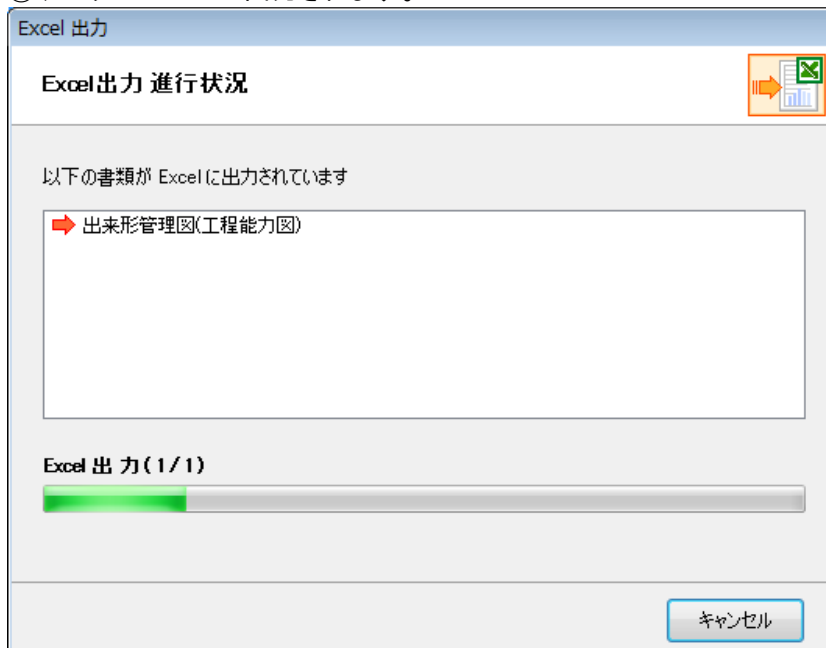
Excel 出力した際に、1 ページ内に表示する「測点数」または「項目数」を設定することができます。

■既に出力されたファイルを上書きする場合は、[この工事で既に出力した Excel ファイルがある場合は上書きする]にチェックを入れます。

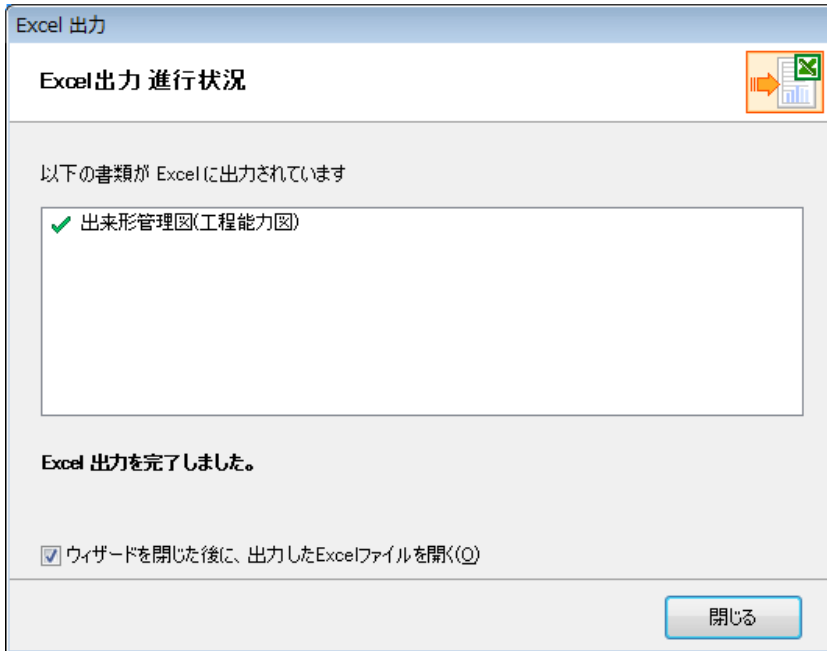
③[設定]を確認し[OK]をクリックします。



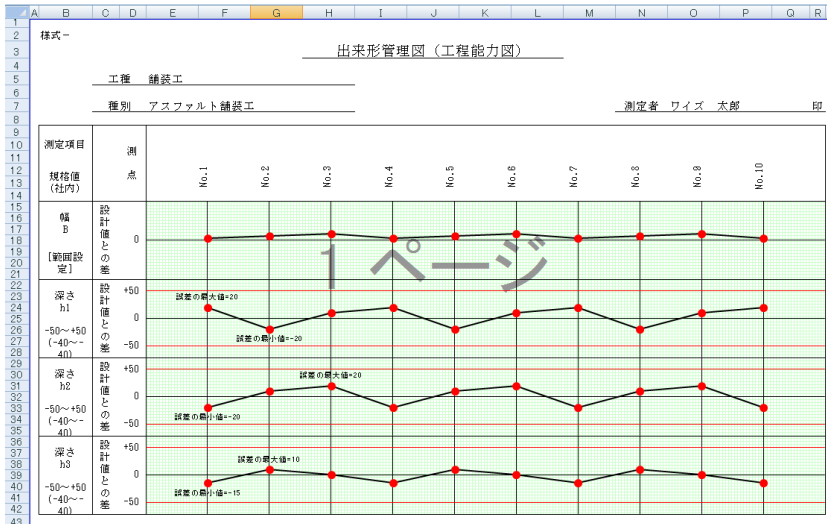
④データが Excel へ出力されます。



- ⑤ Excel への出力が終了しました。[閉じる]をクリックします。
 [ウィザードを閉じた後に、出力した Excel ファイルを開く]にチェックを付けていると、Excel が起動します。



- ⑥ 出力された Excel の印刷を行います。修正がある場合はここでを行います。

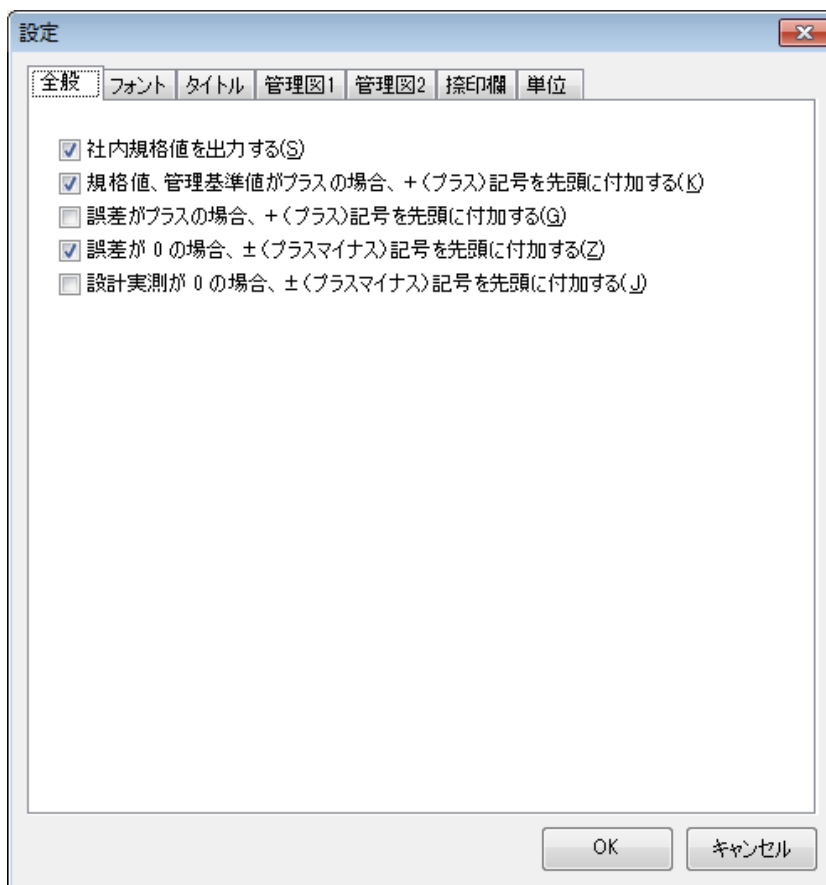


設定(印刷)

印刷(Excel 出力)の②で[Excel 出力]をクリックすると、[設定]ダイアログが表示され様々な設定が行えます。

全般

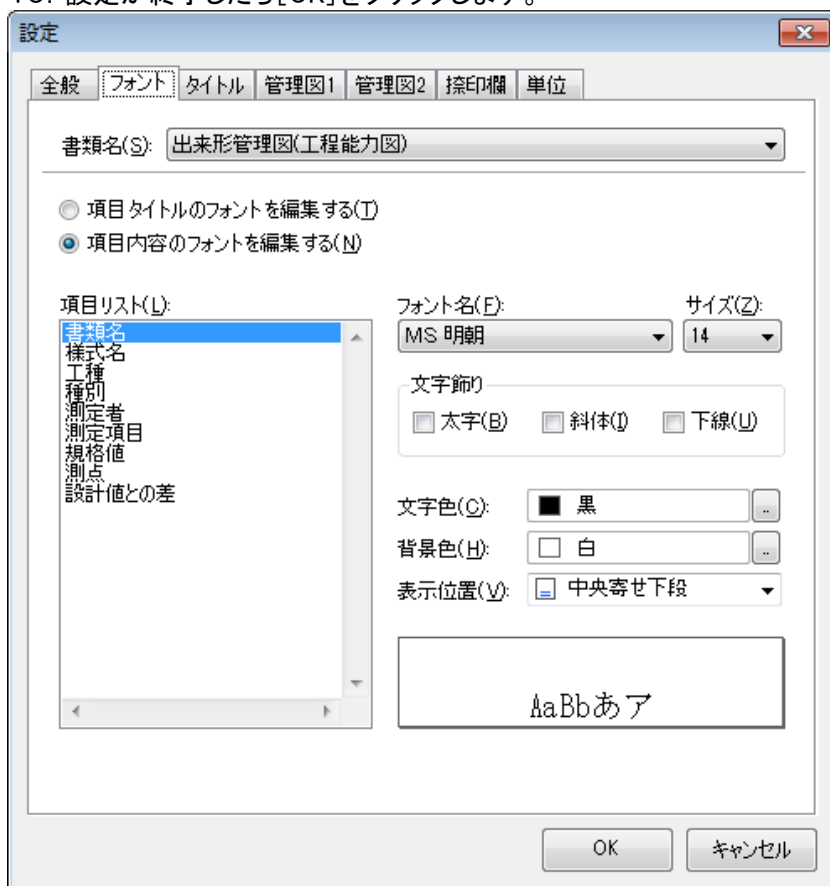
社内規格値の出力及び規格値、誤差、設計実測値の+(プラス)記号、±(プラスマイナス)記号について設定します。



フォント

印刷する書類のフォントを設定します。

- ① [フォント] タブをクリックします。
 1. フォントを変更する書類を書類名より選択します。
 2. [項目タイトルのフォントを編集する] または [項目内容のフォントを編集する] のどちらかを選択します。
 3. 項目リストから項目を選択します。
 4. フォントを変更する場合は、フォント名を選択します。
 5. フォントサイズを変更する場合は、フォントサイズを選択します。
 6. 文字飾りをつける場合は、該当する項目にチェックをつけます。
 7. 文字色を変更する場合は、文字色を選択します。
 8. 背景色を変更する場合は、背景色を選択します。
 9. 表示位置を変更する場合は、表示位置を選択します。
 10. 設定が終了したら [OK] をクリックします。



タイトル

書類のタイトル及び測定者名等のデータを変更することができます。

- ① [タイトル] タブをクリックします。
 1. タイトル等を変更する書類を書類名より選択します。
 2. 変更するタイトルまたはデータをクリックします。
 3. タイトルまたはデータを変更します。
 4. 設定が終了したら [OK] をクリックします。

タイトル	
工種	工種
種別	種別
測定者	測定者
測定項目	測定項目
規格値	規格値
測点	測点
設計値との差	設計値との差

データ	
書類名	出来形管理図(工程能力図)
様式名	様式-
測定者名	ワイズ 太郎

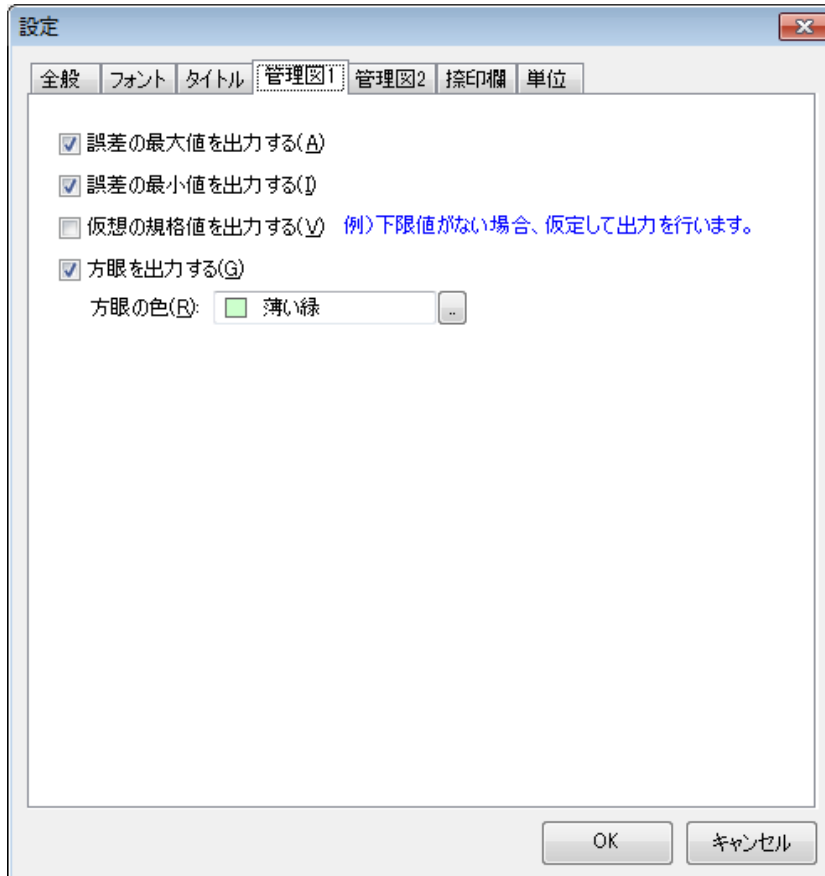
■測定者名は登録してある社員から選択することができます。

管理図1

出来形管理図のグラフ上に出力されるデータについて設定します。

① [管理図1] タブをクリックします。

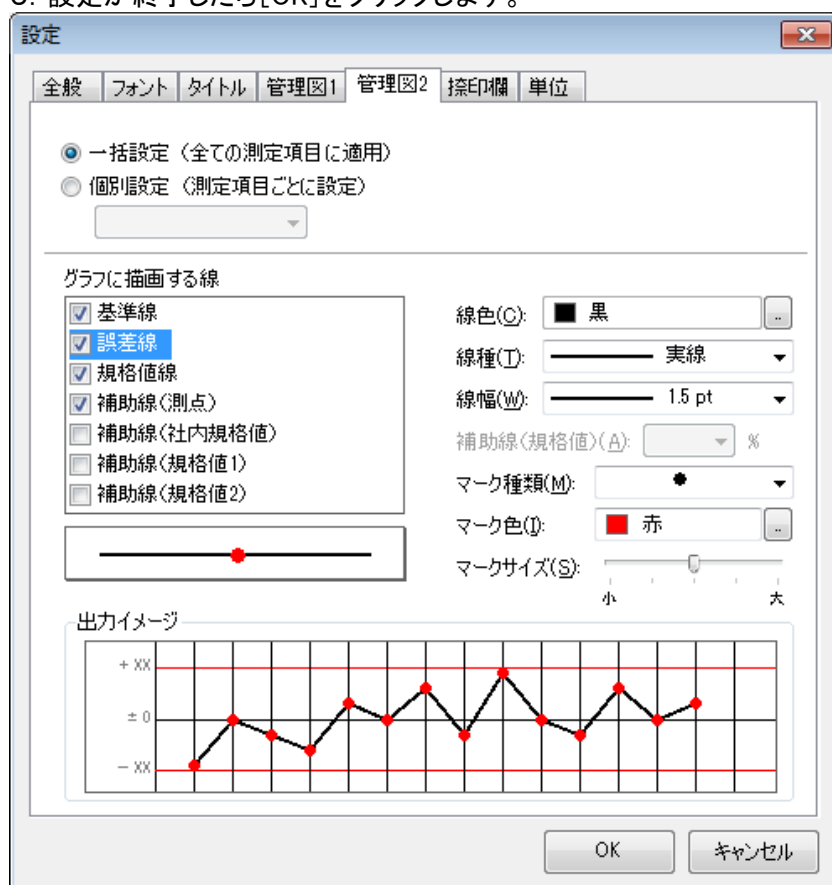
1. 該当する項目にチェックを入れます。方眼の色を変更することもできます。
2. 設定が終了したら [OK] をクリックします。



管理図2

出来形管理図のグラフ上に出力されるデータについて設定します。

- ① [管理図2] タブをクリックします。
 1. [一括設定] または [個別設定] のどちらかを選択します。
 2. グラフに描画する線を選択します。
 3. 線色、線種、線幅を選択します。
 4. 補助線、マークの種類、マーク色、マークサイズは必要に応じて選択します。
 5. 設定が終了したら [OK] をクリックします。



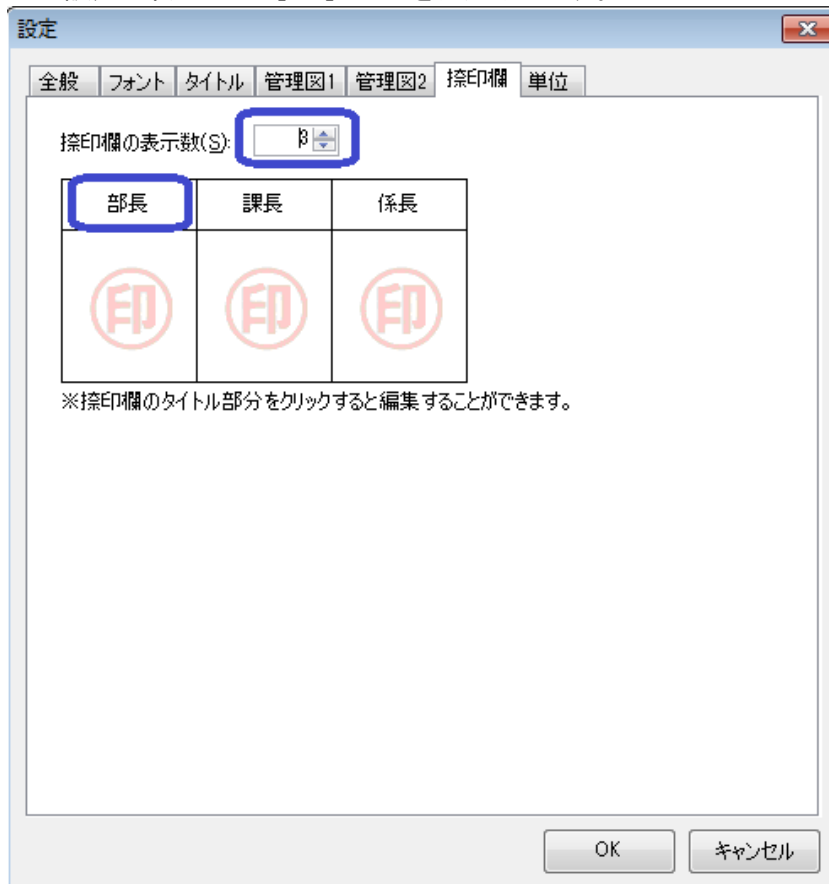
■ [一括設定] を選択すると、全ての測定項目に対して設定した内容が適用されます。[個別設定] を選択すると、選択した項目にのみ設定した内容が適用されます。

捺印欄

捺印欄のタイトルを設定します。

① [捺印欄] タブをクリックします。

1. [捺印欄の表示数] で表示する数を設定します。
2. 捺印欄のタイトルを編集します。
3. 設定が終了したら [OK] ボタンをクリックします。



単位

単位の設定をします。

- ① [単位] タブをクリックします。
1. 誤差の単位設定方法を選択します。

誤差の単位

常に設計実測と誤差の単位を合わせる

設計実測の単位が長さ(m、cm、mm)の場合に、誤差と規格値の単位を合わせる

2. 単位毎に表示するときの小数点桁数を設定します。
3. 設定が終了したら[OK]をクリックします。

設定

全般 フォント タイトル 管理図1 管理図2 捺印欄 **単位**

誤差の単位

常に設計実測と誤差の単位を合わせる

設計実測の単位が長さ(m、cm、mm)の場合に、誤差と規格値の単位を合わせる

単位ごとの小数点の桁数

単位	小数桁
[単位なし]	3桁
mm	なし
cm	2桁
m	3桁
1:N	1桁
%	1桁
m ²	1桁
度	1桁
°	なし
本	なし
段	3桁
t	3桁
mV	1桁

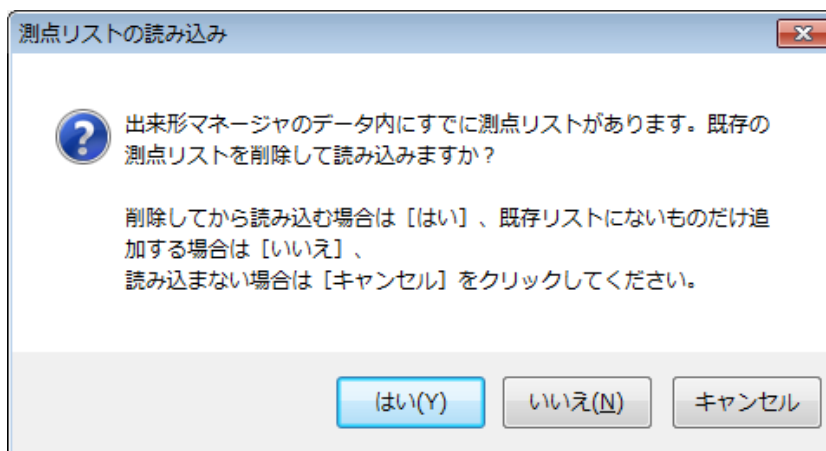
OK キャンセル

13. PhotoManager データの読み込み

既に PhotoManager に工事のデータがある場合は読み込み、データ連携することができます。
(※PhotoManager8.0 以降のデータのみ読み込むことができます。)

①メニューの[ファイル]－[Photo Manager データ読み込みウィザード]をクリックします。
以降 P20 参照。

②既に測点リストがある場合は下記のメッセージが表示されます。既存の測点リストを削除して読み込む場合は[はい]を、既存の測点リストにないものだけを読み込む場合は[いいえ]をクリックします。



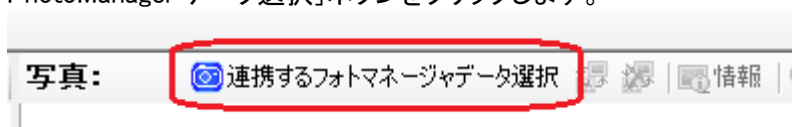
■PhotoManager とデータ連携がされていますので、次項「13. PhotoManager との連携」の「連携するデータの選択」と「連携する写真の選択」は行う必要がありません。

14. PhotoManager との連携

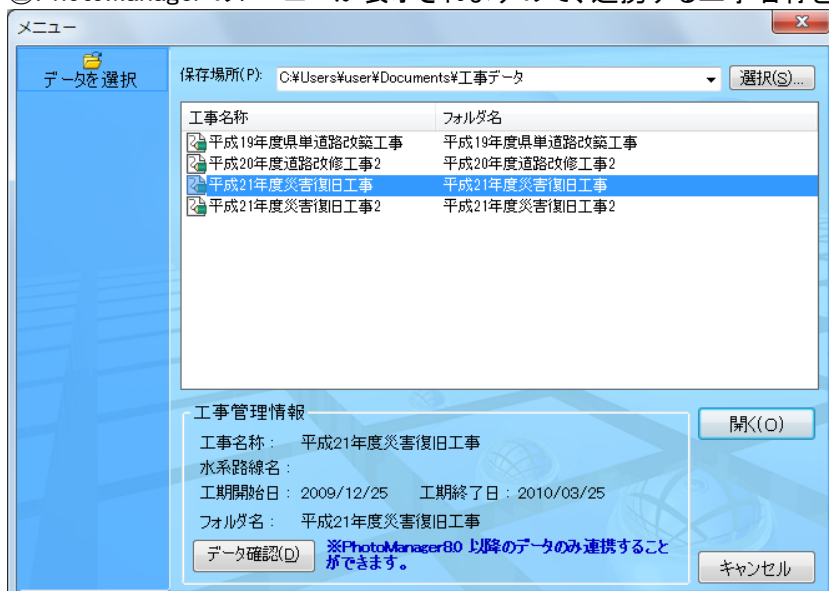
PhotoManager のデータと連携することができます。
(※PhotoManager8.0 以降のデータのみ連携することができます。)

連携するデータの選択

①メニューー[写真連携]ー[連携する PhotoManager データの選択]又は下図の[連携する PhotoManager データ選択]ボタンをクリックします。



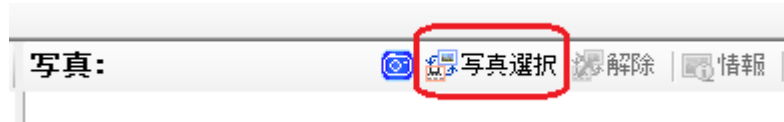
②PhotoManager のメニューが表示されますので、連携する工事名称を選択して[開く]をクリックします。



連携する写真の選択

連携する写真を選択することによって、PhotoManager と「写真」「設計値」「実測値」が連携されます。

①メニューー [写真連携]ー [連携する写真ファイルの選択] 又は下図の [写真選択] ボタンをクリックします。



②連携する写真を選択し、[現在の測点と連携] をクリックします。



■ [詳細表示] 以外の写真一覧では、「Ctrl」を押しながら複数の写真を選択して連携することができます。

③写真が挿入されます。複数登録する場合は同じ作業を繰り返し行います。



「設計値」「実測値」の連携

連携する写真を選択すると、PhotoManager と「設計値」「実測値」の連携がされます。
 ※連携されるのは「施工管理値(表)」のデータです。

①PhotoManager にて「設計値」または「実測値」が変更されると、出来形マネージャにも自動で反映します。

■PhotoManager の画面

施工管理値(表) | 施工管理値(文字)

	項目名	実測値	設計値
1	B	525.000	500.000
2			
3			
4			
5			

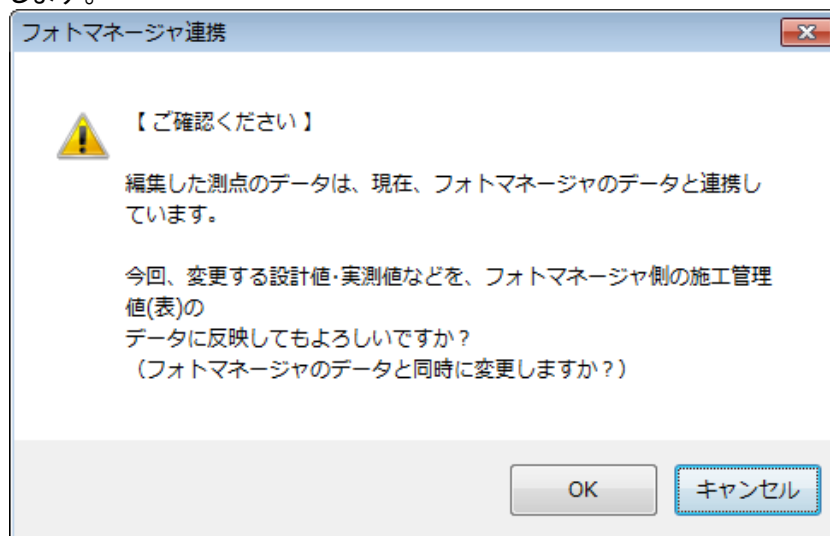
PhotoManager でデータを変更すると、出来形マネージャに反映します。

■出来形マネージャの画面

測点名 : No.0

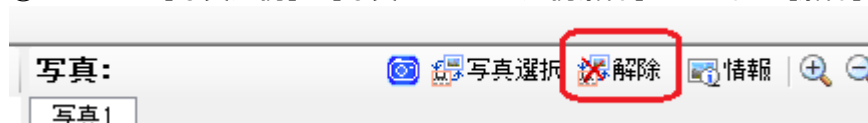
	項目名	記号	設計値	実測値	誤差	単位
1	厚さ	B	500	525	25	mm

②出来形マネージャにて「設計値」または「実測値」が変更されると、以下のメッセージが表示されます。PhotoManager へも反映させる場合は[OK]をクリックします。反映させない場合は[キャンセル]をクリックします。

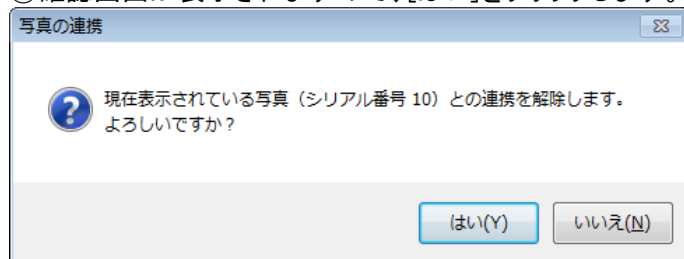


写真の連携解除

①メニューー[写真連携]ー[写真ファイルの連携解除]又は下図の[解除]ボタンをクリックします。



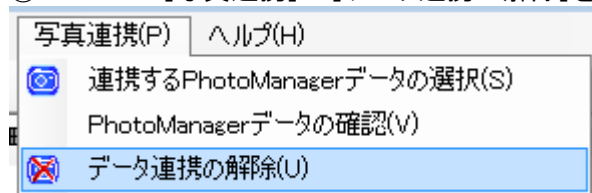
②確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



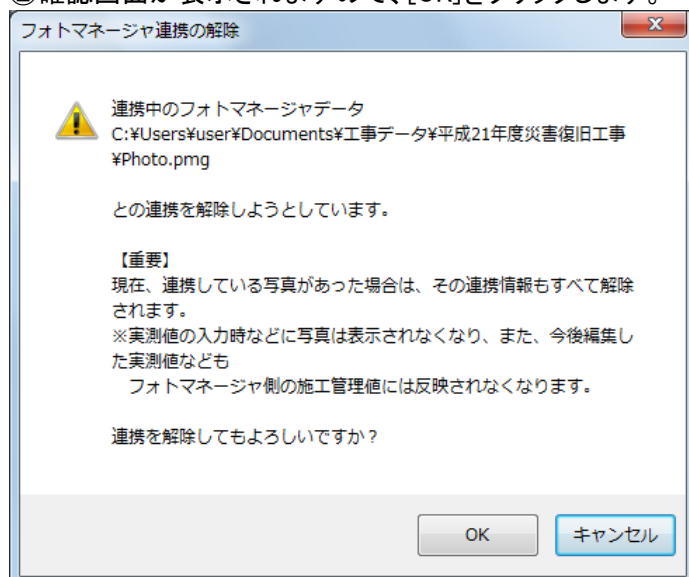
■「設計値」「実測値」の連携も解除されます。

データの連携の解除

①メニューー[写真連携]ー[データ連携の解除]をクリックします。



②確認画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



15. オプション

各種設定

①メニューの[ツール]－[オプション]をクリックします。

②[入力]タブをクリックします。

・誤差の計算方法

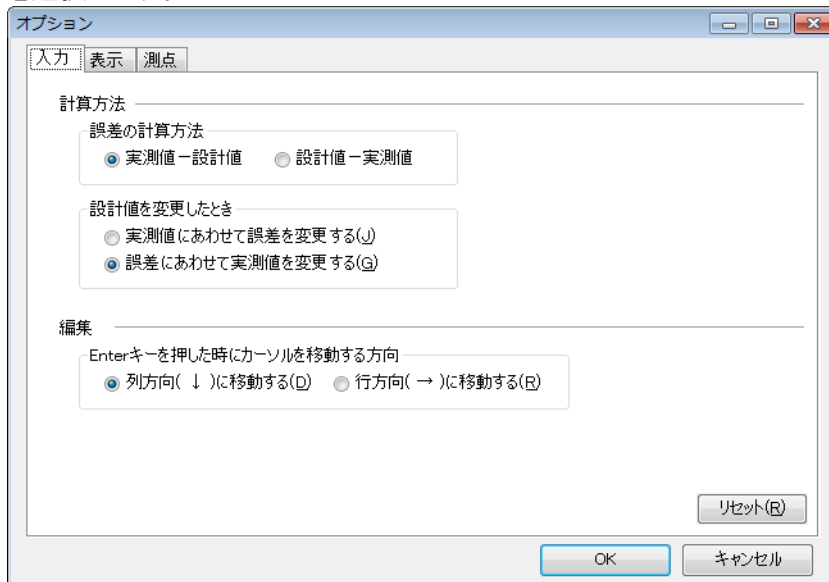
[実測値－設計値]か[設計値－実測値]のどちらかを選択します。

・設計値を変更したとき

[実測値にあわせて誤差を変更する]か[誤差にあわせて実測値を変更する]のどちらかを選択します。

・Enterキーを押した時にカーソルを移動する方向

カーソルを右に移動したい場合は[行方向に移動する]を、下に移動したい場合は[列方向に移動する]を選択します。



③[表示]タブをクリックします。

・画面表示

起動時に工事選択ダイアログを表示する場合はチェックを入れます。

・フォルダ

工事を開いたときに工種区分フォルダの展開をする場合はチェックを入れ、展開する区分を選択します。

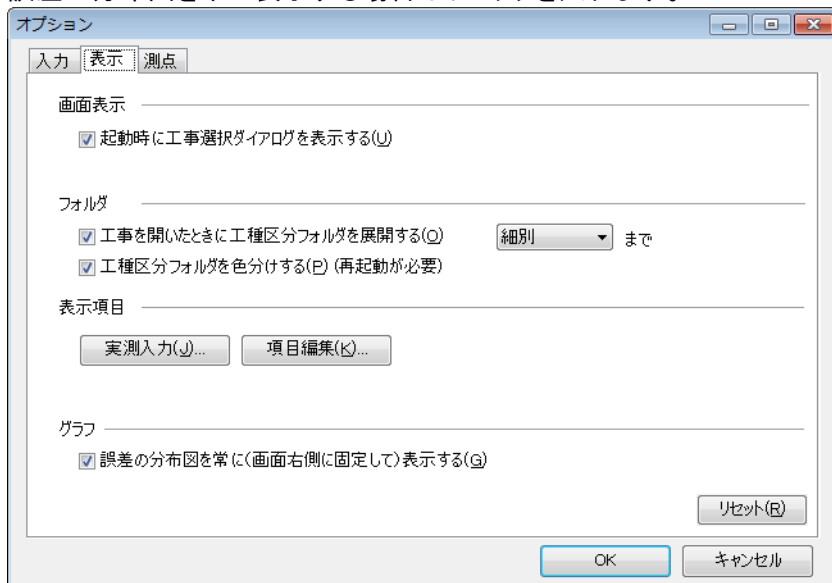
工種区分フォルダを色分けする場合はチェックを入れます。

・表示項目

[実測入力]と[項目編集]で表示する項目を設定します。

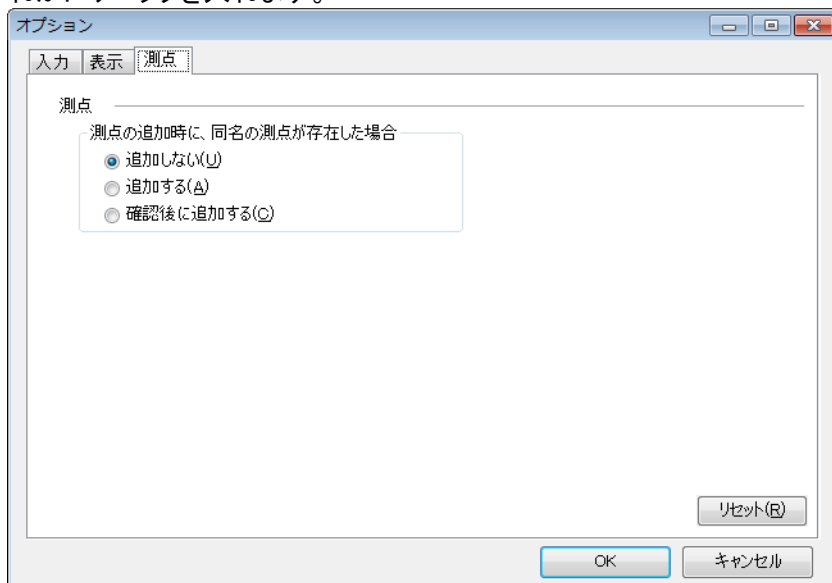
・グラフ

誤差の分布図を常に表示する場合はチェックを入れます。



④[測点]タブをクリックします。

測点の追加時に同名の測点が存在した場合、[追加しない][追加する]または[確認後に追加する]のどれかにチェックを入れます。



⑤設定が終了したら[OK]ボタンをクリックします。

16. 出来形管理総括表

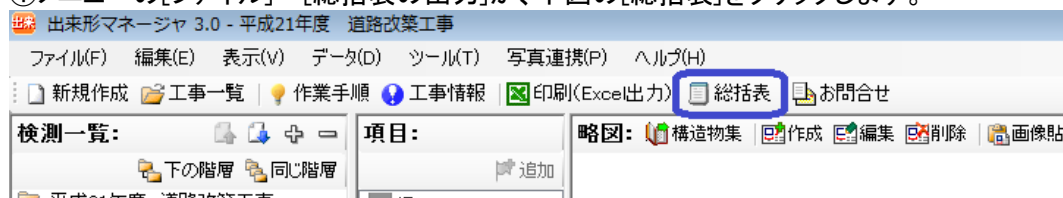
出来形管理総括表の入力データは、出来形管理書類作成で入力されたデータをそのまま使用することができます。

出来形管理総括表の入力

出来形管理総括表を印刷するためのデータを入力します。

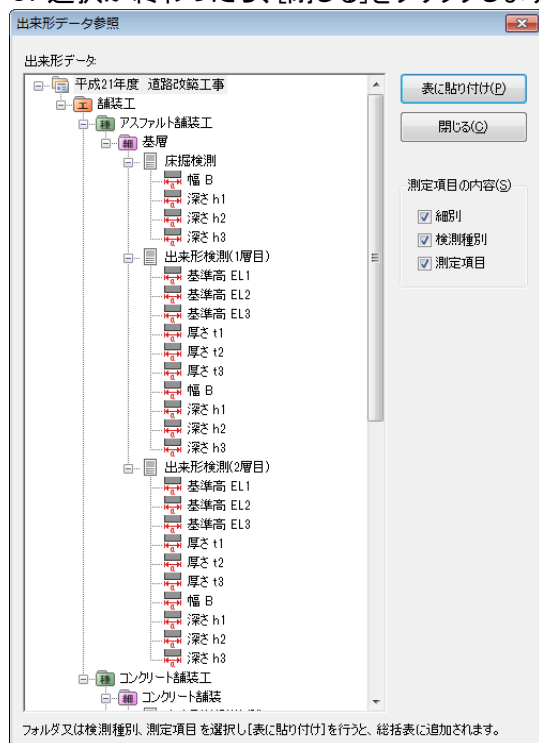
出来形管理総括表の表示

①メニューの[ファイル]―[総括表の出力]か、下図の[総括表]をクリックします。



②出来形データ参照ダイアログが表示されます。

1. 測定項目に貼り付ける内容にチェックをつけます。
2. 表に貼り付ける項目を選択し、[表に貼り付け]ボタンをクリックします。
3. 項目名をダブルクリックすることでも表に貼り付けることができます。
4. 1、2の操作を繰り返し、必要なデータを貼り付けます。
5. 選択が終わったら、[閉じる]をクリックします。

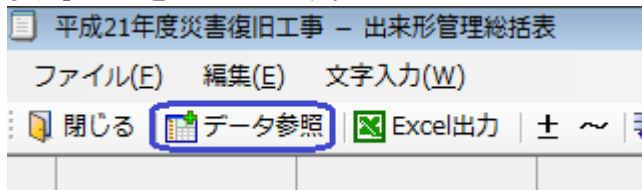


③出来形管理総括表にデータが参照されます。

工程	種類	測定項目	測定基準	測定回数		規格値	測定値			摘要
				計画	実施		最大値	最小値	平均値	
1	舗装工	基層圧縮検査 層厚 5		75	75		5500	0	380.0	
2	舗装工	基層圧縮検査 深さ h1		75	75		20	-20	0.7	
3	舗装工	基層圧縮検査 深さ h2		75	75		20	-20	0.7	
4	舗装工	基層圧縮検査 深さ h3		75	75		10	-15	-0.3	
5	舗装工	基層出来形検査(1層目) 基準高 EL1		76	76		0	0	0.0	
6	舗装工	基層出来形検査(1層目) 基準高 EL2		76	76		0	0	0.0	
7	舗装工	基層出来形検査(1層目) 基準高 EL3		76	76		0	0	0.0	
8	舗装工	基層出来形検査(1層目) 厚さ t1		76	76		0	0	0.0	
9	舗装工	基層出来形検査(1層目) 厚さ t2		76	76		0	0	0.0	

入力データを参照する

①出来形管理総括表画面が表示された状態で入力したいセルをクリックして選択した後、下図の[データ参照]ボタンをクリックします。



②出来形データ参照ダイアログが表示されますので、必要項目を選択します。
前ページ参照。

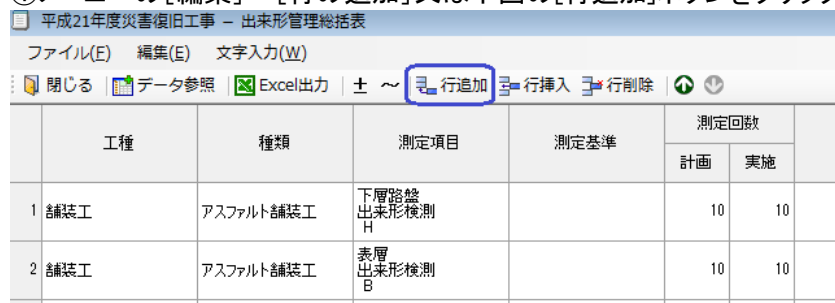
出来形管理総括表に直接データを入力する

①出来形管理総括表入力画面が表示されている状態で直接データを入力します。

工程	種類	測定項目	測定基準	測定回数		規格値	測定値			摘要
				計画	実施		最大値	最小値	平均値	
1	舗装工	基層圧縮検査 層厚 5		75	75		5500	0	380.0	
2	舗装工	基層圧縮検査 深さ h1		75	75		20	-20	0.7	
3	舗装工	基層圧縮検査 深さ h2		75	75		20	-20	0.7	
4	舗装工	基層圧縮検査 深さ h3		75	75		10	-15	-0.3	
5										

行を追加する

①メニューの[編集]→[行の追加]又は下図の[行追加]ボタンをクリックします。



	工種	種類	測定項目	測定基準	測定回数		
					計画	実施	
1	舗装工	アスファルト舗装工	下層路盤 出来形検測 H			10	10
2	舗装工	アスファルト舗装工	表層 出来形検測 B			10	10

②最下行に行が追加されます。

行を挿入する

①挿入したい行を選択します。メニューの[編集]→[行の挿入]又は下図の[行挿入]ボタンをクリックします。

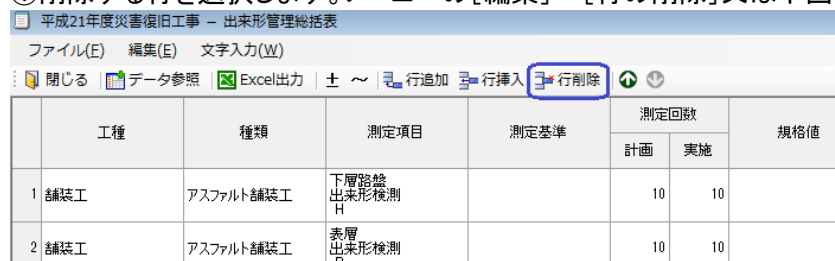


	工種	種類	測定項目	測定基準	測定回数		測定値			摘要	
					計画	実施	最大値	最小値	平均値		
1	舗装工	アスファルト舗装工	表層 厚検測 幅 B		75	75		5500	0	380.0	
2	舗装工	アスファルト舗装工	表層 厚検測 深さ H1		75	75		20	-20	0.7	
3											
4	舗装工	アスファルト舗装工	表層 厚検測 深さ H2		75	75		20	-20	0.7	
5	舗装工	アスファルト舗装工	表層 厚検測 深さ H3		75	75		10	-15	-0.3	
6											

②選択した行と1つ前の行の間に新しい行が挿入されます。

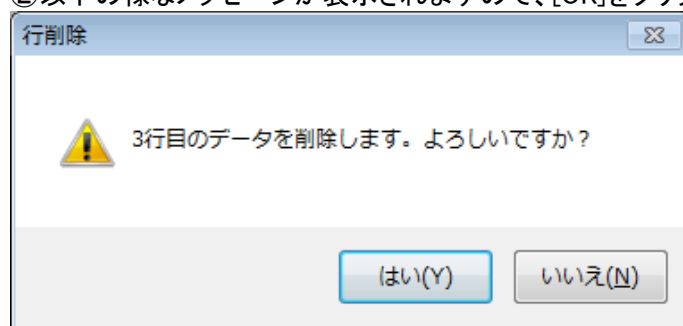
行を削除する

①削除する行を選択します。メニューの[編集]→[行の削除]又は下図の[行削除]ボタンをクリックします。



	工種	種類	測定項目	測定基準	測定回数		規格値	
					計画	実施		
1	舗装工	アスファルト舗装工	下層路盤 出来形検測 H			10	10	
2	舗装工	アスファルト舗装工	表層 出来形検測 B			10	10	



②以下の様なメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

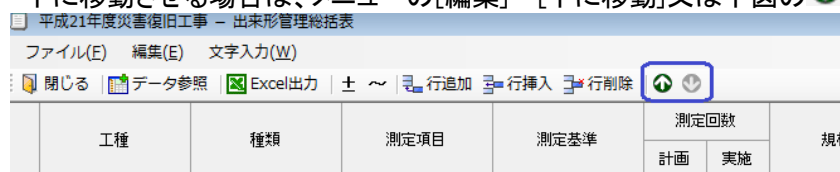


③選択した行が削除されます。

データを移動する

①移動させる行を選択します。

- ・上に移動させる場合は、メニューの[編集]→[上に移動]又は下図の  ボタンをクリックします。
- ・下に移動させる場合は、メニューの[編集]→[下に移動]又は下図の  ボタンをクリックします。



	工種	種類	測定項目	測定基準	測定回数		規格	
					計画	実施		

印刷(Excel 出力)

出来形管理総括表を Excel へ出力します。

①メニューの[ファイル]ー[Excelに出力]又は下図の[Excel 出力]をクリックします。

	工種	種類	測定項目	測定基準	測定回数		
					計画	実施	
1	舗装工	アスファルト舗装工	下層路盤 出来形検測 H			10	10
2	舗装工	アスファルト舗装工	表層 出来形検測 H			10	10

②Excel が起動し、出力データが表示されます。[工事データ]フォルダ内の工事名の付いたフォルダ内に保存されています。

印刷が必要な場合は出力された Excel で印刷を行います。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	
1												
2	出来形管理総括表											
3												
4	工事名	平成21年度 道路改築工事								測定者		
5												
6	工種	種類	測定項目	測定基準	測定回数		規格値 (mm)	測定値			摘要	
7					計画	実施		最大値	最小値	平均値		
8			基層 床掘検測 幅 B		75	75		5500	0	380		
9			基層 床掘検測 深さ h1		75	75		20	-20	0.7		
10			基層 床掘検測 幅 B		75	75		5500	0	380		
11			基層 床掘検測 深さ h1		75	75		20	-20	0.7		
12			基層 床掘検測 深さ h2		75	75		20	-20	0.7		
13			基層 床掘検測 深さ h3		75	75		10	-15	-0.3		
14			基層 出来形検測(1 層目)		76	76		0	0	0		
15			基層 出来形検測(1 層目)		76	76		0	0	0		

17. 構造物集

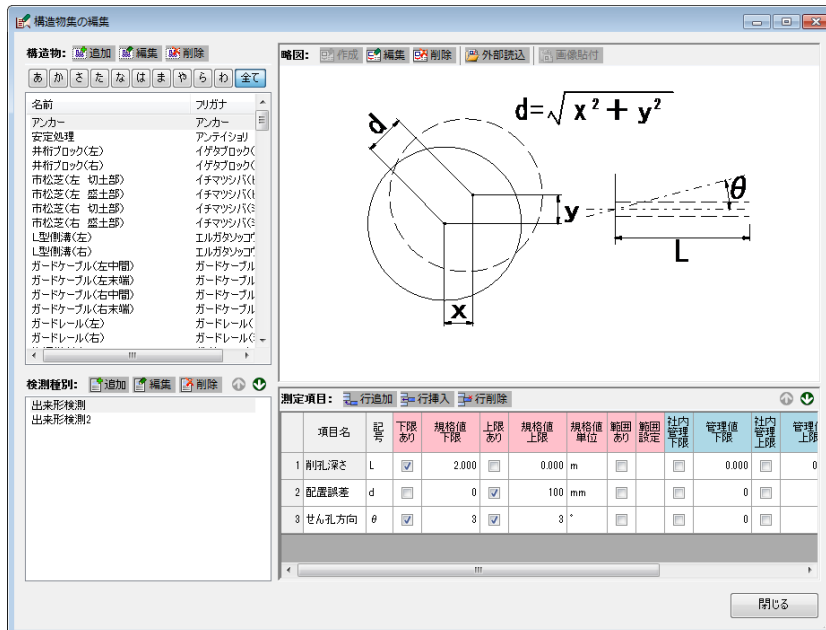
構造物集に構造物を追加、編集を行います。

構造物編集画面の表示

①メニューの[ツール]－[構造物集マスタ]をクリックします。

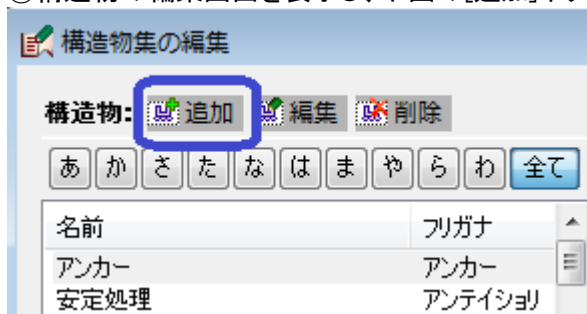
②構造物の編集画面が表示されます。

構造物、検測種別、略図、測定項目の編集を行います。



構造物の追加

①構造物の編集画面を表示し、下図の[追加]ボタンをクリックします。



- ②[構造物の追加]画面が表示されます。
1. 構造物名とフリガナを入力します。
 2. 分類がある場合は入力します。
 3. 入力したら、[追加]ボタンをクリックします。

- 連続して追加する場合は、「連続して作成する」のチェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

検測種別の追加

- ①検測種別を追加したい構造物を選択し、下図の[追加]ボタンをクリックします。

- ②[検測種別の追加]画面が表示されます。
1. 検測種別名を入力します。
 2. 入力したら、[追加]ボタンをクリックします。

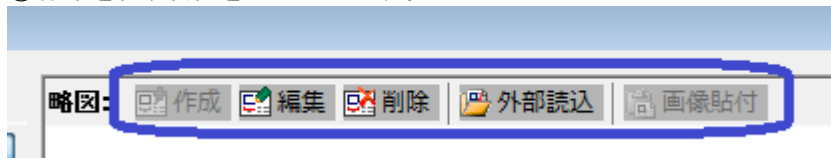
- 連続して追加する場合は、「連続して追加する」のチェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

測定項目の編集

- ①構造物を選択します。
- ②測定項目を編集する検測種別を選択します。
- ③測定項目を編集します。

略図の作成、読み込、編集、削除

- ①構造物を選択します。
- ②検測種別を選択します。
- ③作業を行う項目をクリックします。



■「作図システム」の操作方法については「作図システム」操作マニュアルを参照してください。

18. 現場での利用

「出来形マネージャ」で作成したデータを別のパソコンで使用方法について解説します。

現場等の別のパソコンで使用する

工事データのコピー

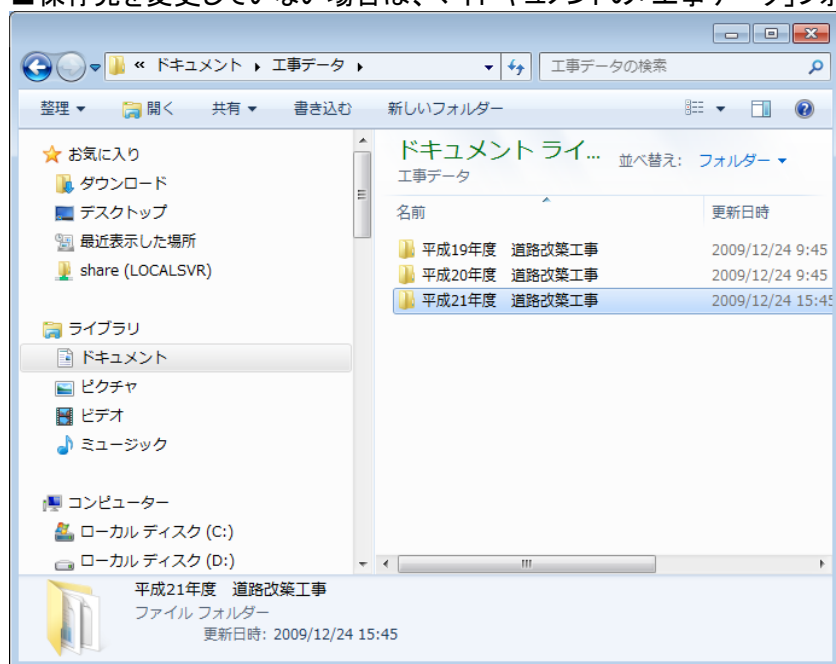
①Windows 画面左下の[スタート]ボタンを右クリックし、[エクスプローラを開く]をクリックします。

②エクスプローラが起動します。

工事データが保存されているフォルダ(工事名が表示されています)をクリックし選択します。

マウス右クリックし、[コピー]をクリックします。

■保存先を変更していない場合は、マイドキュメントの「工事データ」フォルダに保存されています。



③別の使用するパソコンに[貼り付け]をします。

■マイドキュメントの「工事データ」フォルダに保存すると開くとき便利です。

構造物集のコピー

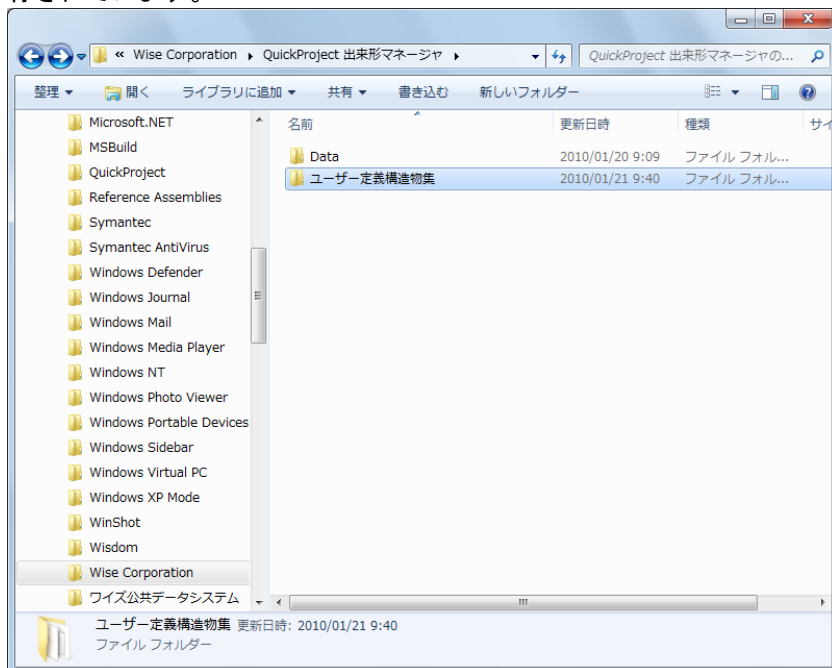
①Windows 画面左下の[スタート]ボタンを右クリックし、[エクスプローラを開く]をクリックします。

②エクスプローラが起動します。

構造物集データが保存されているフォルダ(ユーザー定義構造物集)をクリックし選択します。

マウス右クリックし、[コピー]をクリックします。

■保存先を変更していない場合は、“C:¥Programfiles¥QuickProject¥出来形マネージャ 3”フォルダに保存されています。



③別の使用するパソコンに[貼り付け]をします。

■貼り付け先は “C:¥Programfiles¥QuickProject¥出来形マネージャ 3”フォルダとなります。これ以外の場所に貼り付けた場合は正常に動作しません。

Excel 出力設定のコピー

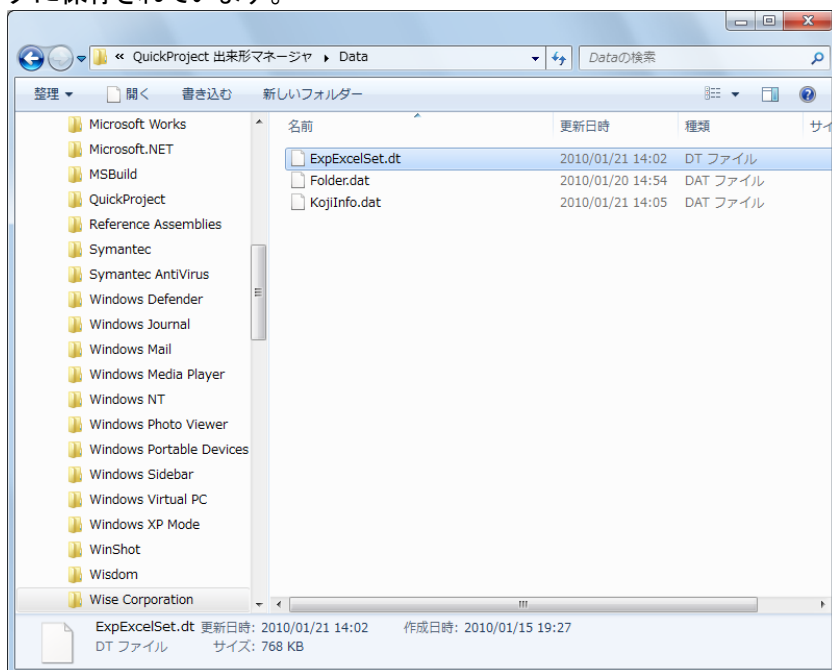
①Windows 画面左下の[スタート]ボタンを右クリックし、[エクスプローラを開く]をクリックします。

②エクスプローラが起動します。

Excel 出力設定が保存されているファイル(ExpExcelSet.dt)をクリックし選択します。

マウス右クリックし、[コピー]をクリックします。

■保存先を変更していない場合は、“C:¥Programfiles¥QuickProject¥出来形マネージャ 3¥Data”フォルダに保存されています。



③別の使用するパソコンに[貼り付け]をします。

■貼り付け先は “C:¥Programfiles¥QuickProject¥出来形マネージャ 3¥Data”フォルダとなります。これ以外の場所に貼り付けた場合は正常に動作しません。

ご注意

1. このソフトウェアの著作権は、株式会社ワイズにあります。
2. このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
3. このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
4. 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

システム購入後のトラブル、操作方法についてのお問い合わせは

サポートダイヤル:026-266-0792までお願いします。

お急ぎでない場合は、できるだけFAX(026-266-0845)またはe-mail(info@wise.co.jp)にてお問い合わせ下さい。

またお問い合わせの際には、次のことをお知らせ下さい。

- ①ご利用商品
- ②貴社名
- ③ご担当者様名
- ④お電話番号
- ⑤パソコンのシステム構成(使用OS、パソコンのメーカー名、機種名、印刷の不具合の場合はプリンタのメーカー名、機種名等)
- ⑥お問い合わせ内容(操作の手順、表示メッセージなどの詳しい状況)

平成27年2月 改訂
株式会社ワイズ
〒380-0803
長野県長野市三輪一丁目8番14号
TEL.026-266-0710
FAX.026-266-0845
e-mail:info@wise.co.jp
http://www.wise.co.jp